

平成28年度使用

中学校用教科用図書選定のための資料

岩手県教育委員会

調査票1 種目名(国語)		東書(2)	学図(11)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)
観点	項目・発行者名(番号)					
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	付けたい力を「言葉の力」として巻頭末に示し、それを支える教材を位置付けて、習得を図るよう配慮されている。	教材の冒頭に学習目標を示し、その達成に向かって教材文に脚問を位置付けて、習得を図るよう配慮されている。	教材の冒頭に学習目標を示し、「学びの道しるべ」に沿って学習の見通しをもたせ、習得を図るよう配慮されている。	学習の見通しをもてるよう、単元ごとに学習内容の重点や言語活動の過程を示し、習得を図るよう配慮されている。	教材の冒頭に学習目標と見通しを示し、学習目標に応じた言語活動を設定して、習得を図るよう配慮されている。
	2 児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	指導事項に基づいた言語活動を通して、習得した知識を以後の学習で活用しながら、思考力などを育むよう工夫されている。	交流や共有を軸とする言語活動を位置付け、習得した言語能力を活用して思考力などを育むよう工夫されている。	学び方を学ぶ教材を豊富に盛り込み、身に付けた力を以後の学習に活用して、思考力などを育むよう工夫されている。	表現領域や言語教材との関連、関連図書の紹介を示し、読みの技能を活用して思考力などを育むよう工夫されている。	本教材の前に練習教材を位置付け、習得した知識を本教材で活用して、思考力などを育むよう工夫されている。
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	巻頭の折り込みや教材ごとに示されている目標や手引きを通して、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。	「学びの窓」により、学び方と学習成果を確かめられ、自覚的に学習を振り返ることができるよう配慮されている。	「学びをひろげよう」を通して、学習で身に付けた力を確かめ、次の学習へ生かすことができるよう配慮されている。	「みちしるべ」を活用しながら、課題解決の過程に沿って主体的に学習を展開することができるよう配慮されている。	「学習の見通しをもとう」では、1年間で身に付けるべき力を示し、主体的に学習することができるよう配慮されている。
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	豊富な作品例の提示や複数の文章・図表の読み比べを通して、課題解決的な言語活動に取り組めるよう配慮されている。	学年目標や各領域のバランスを踏まえ、交流や共有を軸とした、読解と表現をつなぐ言語活動に取り組めるよう配慮されている。	読むこと領域では、学習のねらいの達成に向けて、学んだ力を活用する言語活動に取り組めるよう配慮されている。	学年目標や領域に照らし合わせて教材を配列し、課題解決の道筋に沿って言語活動に取り組めるよう配慮されている。	各領域の学習内容が相互に関連付けられ、実生活につながる課題解決的な言語活動に取り組めるよう配慮されている。
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	「学びを支える言葉の力」を示し、学んだことを他教科などの学習や実生活に活用できるよう配慮されている。	「情報と表現」の学習を通して、情報の収集、整理・分析の仕方を学び、他教科などの学習に活用できるよう配慮されている。	「学ぶ力を高めよう」において7つの学びの方法を示し、課題に応じて他教科などの学習に活用できるよう配慮されている。	「言葉の自習室」には、情報収集や話し合いの方法などがまとめられ、他教科などの学習に活用できるよう配慮されている。	「他教科に生かす」において、具体的にその方途を例示し、身に付けた言葉の力を活用できるよう配慮されている。
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	各領域の学習が相互に関連し、3年間で「言葉の力」が確実に積み上がるよう系統的・段階的に配列されている。	各単元は、選択教材が設定され、学習者に合わせた適切な学習活動が可能となるよう段階的・横断的に配列されている。	3年間を通して17の読みの方略を単元内に位置付け、付けたい力が確実に習得できるよう、系統的・段階的に配列されている。	学習内容の重点を明確に示し、習得した力を発揮しながら学習ができるよう系統的・螺旋的に配列されている。	各領域の学習過程を統一するとともに、習得と活用を繰り返し、言葉の力が身に付くよう系統的・段階的に配列されている。
	2 反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	語彙指導は、「広がる言葉／言葉を広げよう」などの語彙を豊かにする教材により、繰り返して学習できるよう工夫されている。	文法の指導は、巻末資料「言語の学習」を活用し、練習問題に取り組んで定着が図られるよう工夫されている。	語彙指導は、「ことば発見」などの辞典の活用を促す教材が配列され、繰り返して学習できるよう工夫されている。	文法と語彙指導は、言葉への気付きを大切に、練習問題や巻末資料でより詳しく学習できるよう工夫されている。	文法と語彙指導は、「文法/漢字に親しもう」で集中的に学習し、以後の練習問題で定着が図られるよう工夫されている。

調査票 1		種目名 (国語)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	学図(11)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)	
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	四季折々の自然や生活に密着した言葉や詩歌を取り上げ、豊かな言語感覚を養えるよう工夫されている。	学校生活や地域の実情と関連した題材を取り上げ、興味・関心を高めるよう工夫されている。	地域や学校行事と関わりのある題材を盛り込み、生徒の学習意欲を喚起するよう工夫されている。	学校生活や季節を意識した教材配列により、時宜を得た学習活動が展開されるよう工夫されている。	季節を感じる言葉や教材を取り上げ、季節感を大切にした学習活動が行えるよう工夫されている。
	4	内容と分量のバランスについて	年間を通じて、各学年とも3領域1事項の学習が、バランスよく進められるよう配慮されている。	各領域の教材をバランスよく配列し、年間を通じて実生活に生きる学習ができるよう配慮されている。	各学年とも3領域1事項のバランスが考慮され、多様な言語活動が展開できるよう配慮されている。	領域のバランスに配慮した教材と言語活動が明確に位置付けられ、主体的に学べるよう配慮されている。	各領域の教材をバランスよく配列し、指導事項に繰り返し触れて学習を積み上げるよう配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	巻頭に分かり易い言葉で学習のねらいと1年間の学習の流れを明示し、学習内容を見通せるよう工夫されている。	丁寧な文章で具体的な脚問を付けることにより、学習のポイントや学習活動が明確になるよう工夫されている。	「読み方を学ぼう」を設定して学習の手立てを平易な言葉で記し、自学自習が進められるよう工夫されている。	学習の進め方を平易な言葉で明記することで、学習活動の仕方について分かり易く伝わるよう工夫されている。	巻頭に教材ごとの学習の見通しを端的に示すことにより、何を学ぶのかが分かり易く捉えられるよう工夫されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	写真や図表、挿絵を豊富に用いて、教材文と結び付けながら学習内容が理解し易いよう工夫されている。	学習内容に合致した図や写真、吹き出しなどを取り入れ、学習内容の理解を助けるよう工夫されている。	教材文と挿絵・写真・図表などの情報を関連させることで、学習内容が理解し易いよう工夫されている。	関連する図書の写真を多数掲載し、読書意欲を喚起して学習内容の理解を助けるよう工夫されている。	教材文に対応させて写真や図表を多用し、視覚的に学習内容の理解を助けるよう工夫されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	巻末に「言葉を広げよう」を掲載し、教材と対応させて活用できるよう配慮されている。	第一教材に読解を助ける課題を脚問で示し、教科書を活用し易いよう配慮されている。	巻末に3年間を見通した学習用語辞典を掲載し、関連教材と合わせて活用できるよう配慮されている。	単元の一覧表と教科書の使い方の注や例示などを掲載し、活用し易いよう配慮されている。	巻末に索引や折り込みで学習用語の一覧を示し、必要に応じて活用し易いよう配慮されている。
	総合所見	指導事項の系統性を踏まえ、3領域に共通して必要となる言葉の力の学習を位置付けた単元構成とし、習得と活用を繰り返して言葉の力が身に付くよう工夫されている。また、学習の目的を明確にした言語活動を通して、主体的に学習できるよう配慮されている。	教材の選択や再構成が可能な選択教材を位置付けた単元構成とし、読解力や思考力の育成を図るよう工夫されている。また、交流や共有を軸とする言語活動を設定し、話し合いや読み合いなど、協同的に学びながら課題解決できるよう配慮されている。	学習の系統性を重視し、主体的な課題解決の学習過程を通して付けたい力と学び方が習得できるよう工夫されている。また、個の学習と集団で交流や協働する学習を組み合わせながら、言語感覚と実践的な言葉の力を育むことができるよう配慮されている。	学習内容の重点を明確にした系統的な単元構成とし、基礎的・基本的な言葉の力の習得及び、全学年で読書力の育成が図られるよう工夫されている。また、小学校や高等学校との学びの連続性を意識し、無理のない接続となるよう配慮されている。	3領域の学習の系統性を重視した単元構成とし、言語に対する関心を高めながら言葉の力と情報活用能力を培うことができるよう工夫されている。また、目的に応じた言語活動を通して、獲得した言葉の力を日常生活や社会生活に生かせるよう配慮されている。	

調査票 1		種目名 (書写)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	学図(11)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)	
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	学習の目標と段階的な学習の手引きを全単元に位置付けることにより、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されている。	技能の習得に必要な書き方の過程やポイントを簡潔に示すことにより、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されている。	技能の習得のために、イラストを用いた学習のヒントを設定することにより、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されている。	図版の内容を充実させ、技能の習得の手立てを明確にすることにより、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されている。	技能の習得のために、学習事項を書き込む欄を効果的に設定することにより、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるよう工夫されている。
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	習得した知識や技能を日常生活に広げる教材を単元に位置付けることにより、思考力、判断力、表現力などを育むための配慮や工夫が図られている。	発達段階に応じて、日常生活に広げる教材や臨書及び篆刻を取り上げることで、より、思考力、判断力、表現力などを育むための配慮や工夫が図られている。	習得した知識や技能を日常生活に広げる単元を系統的に配列することにより、思考力、判断力、表現力などを育むための配慮や工夫が図られている。	学習を生かして書いたり、日常生活に広げたりする教材を設定することにより、思考力、判断力、表現力などを育むための配慮や工夫が図られている。	巻末に日常生活に広げる教材を配列した資料編を設定することにより、思考力、判断力、表現力などを育むための配慮や工夫が図られている。
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	学習の目標と課題確認、振り返りを全単元に位置付けることにより、見通しをもって主体的に学習できるよう工夫されている。	巻頭の学習の進め方や振り返りの内容を充実することにより、見通しをもって主体的に学習できるよう工夫されている。	考えたり、話し合ったりできる学習課題を単元に位置付けることにより、見通しをもって主体的に学習できるよう工夫されている。	目的意識や身に付ける力、字体を比較させる手順を示すことにより、見通しをもって主体的に学習できるよう工夫されている。	学習の目標や振り返りなど、学習活動の視点を明確に示すことにより、見通しをもって主体的に学習できるよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	絵はがきや電子メールを題材として、多様な文字文化について自分の考えを発表し合うなど、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	手紙や色紙、短冊を題材として、実用的な場面における効果的な書き方を交流するなど、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	行事のポスターやプログラムを題材として、完成した作品について意見を交流するなど、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	手紙やレポート及び体験的な学習のまとめの新聞を題材として、書いた内容を報告するなど、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	作成した図書紹介カードやリーフレットを題材として、内容の良さについて話し合うなど、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	理科のノートの書き方、体験的な学習における計画書の書き方など、他教科及び領域等と関連させた題材が取り上げられている。	英語のエアメールの書き方、学習活動での発表資料の書き方など、他教科及び領域等と関連させた題材が取り上げられている。	社会科及び理科のノートの書き方、卒業記念冊子の書き方など、他教科及び領域等と関連させた題材が取り上げられている。	理科のレポートの書き方、学校行事での立て看板の書き方など、他教科及び領域等と関連させた題材が取り上げられている。	英語のエアメールの書き方、学習活動をまとめる新聞の書き方など、他教科及び領域等と関連させた題材が取り上げられている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	基礎的・基本的な内容を系統的、組織的に配列して、知識や技能の定着が図られるよう構成が工夫されている。	基礎的・基本的な内容を系統的に配列して、効率的に知識や技能の定着が図られるよう構成が工夫されている。	基礎的・基本的な内容を発達段階に応じて系統的に配列して、知識や技能の定着が図られるよう構成が工夫されている。	基礎的・基本的な内容を系統的、段階的に配列して、知識や技能の定着が図られるよう構成が工夫されている。	基礎的・基本的な内容を系統的、段階的に配列して、効率的に知識や技能の定着が図られるよう構成が工夫されている。
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	楷書や行書のまとめなど必要とされる事項を具体的に示すことにより、技能の基礎・基本が定着するよう工夫されている。	字形、筆順の基本練習が系統的に配列されていることにより、技能の基礎・基本が定着するよう工夫されている。	硬筆の書き込み欄を豊富に配し、自主的な学びを促すことにより、技能の基礎・基本が定着するよう工夫されている。	毛筆と同様の文字を硬筆で例示し、確かめさせることにより、技能の基礎・基本が定着するよう工夫されている。	硬筆のなぞり書きや書き込み欄を効果的に設定することにより、技能の基礎・基本が定着するよう工夫されている。

調査票1		種目名 (書写)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	学図(11)	三省堂(15)	教出(17)	光村(38)
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	年賀状、書き初め、二十四節気などを取り上げ、季節、社会的行事などと関連付けた学習ができるよう工夫されている。	年賀状、書き初め、卒業式の寄せ書きなどを取り上げ、季節、社会的行事などと関連付けた学習ができるよう工夫されている。	年賀状、書き初め、時候の挨拶などを取り上げ、季節、社会的行事などと関連付けた学習ができるよう工夫されている。	年賀状、書き初め、暑中見舞いなどを取り上げ、季節、社会的行事などと関連付けた学習ができるよう工夫されている。
	4	内容と分量のバランスについて	学習内容の焦点化を図り、硬筆と毛筆の関連を明確にして、効果的に学習できるよう配慮されている。	学習の進め方が示され、試し書きから練習、まとめ書きまで無理なく学習できるよう配慮されている。	各単元において、習得する技能を焦点化した教材を配列し、効果的に学習できるよう配慮されている。	学習の進め方が示され、目標の確認から振り返りまで無理なく学習できるよう配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	行書の導入において、筆脈を4つの動きのパターンに分けて組み合わせ活用する説明が、生徒に分かり易く表現されている。	キャラクターの吹き出しにより、前の学習を想起したり、比較したりするための説明が、生徒に分かり易く表現されている。	学習を生活に生かす単元において、見通しを立てて計画的に取り組むための説明が、生徒に分かり易く表現されている。	行書の導入において、歴史や書体の特徴、行書の学習への心構えについての説明が、生徒に分かり易く表現されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	紙面全体が横に広く、手本と並列して「書くときのポイント」が配置されるなど、分かり易さに配慮されている。	各単元の扉絵に手本の言葉やイメージを豊かに使用できるような写真を使用するなど、分かり易さに配慮されている。	巻末の折り込みページに写真を効果的に配置して文字の変遷や用具の説明をすなど、分かり易さに配慮されている。	行書の筆使いの特徴を捉えるために、筆の写真と手本を組み合わせで説明するなど、分かり易さに配慮されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	目次に3年間の学習の見通しが明確になるようねらいを示したり、巻末に人名漢字表を配置したりするなど、使い易さに配慮されている。	各学年の学習において、判の大きい手本を配置したり、厚手の紙を使用した書き初めの手本を折り込んだりするなど、使い易さに配慮されている。	学習と関連した資料編を参照することができるようキャラクターによる指示に併せて縮小版を提示するなど、使い易さに配慮されている。	全体の目次に加えて、各学年の扉のページにも目次を配置し、その学年での学習内容を簡潔に説明するなど、使い易さに配慮されている。
総合所見		ワイドな紙面により、生徒が資料を適切に活用したり、書き込みながら学習したりすることができるよう工夫されている。また、学習の手引きの段階的な提示や日常生活に広げる教材の組織的な配列により、主体的に学習することができるよう配慮されている。	目的に合わせて判の大きさや紙質を変えたり、写真と組み合わせたりするなど、手本の内容が工夫されている。また、「試し書き」や「まとめ書き」を位置付けた学習過程により、確かな書写技能の定着を図ることができるよう配慮されている。	生活に生かすための学習が単元として系統的に配置され、判断力や表現力を育てることができるよう工夫されている。また、話し合うことができる学習課題を位置付けることにより、主体的に考えながら学習を進めることができるよう配慮されている。	図版の内容を充実させることにより、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が確実に図られるよう工夫されている。また、文字を書く目的や相手意識、身に付ける力を明確にすることで、見通しをもって学習を進めることができるよう配慮されている。	単元や教材の精選により学習する内容を焦点化し、書き込み欄を効果的に活用しながら学習できるよう工夫されている。また、資料編の内容を充実させることにより、日常生活や他の学習の言語活動にも役立てることができるよう配慮されている。

調査票 1		種目名 (地理)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	帝国(46)	日文(116)	
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	1単位時間を「導入・課題・本文・振り返り」の流れで構成したり、「地理スキル・アップ」を設けたりすることで基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。	単元に設けた基礎的な技能を習得する「地理にアプローチ」と各章末に「学習のまとめと表現」を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。	資料の読み取り方など技能の定着を目的とした「技能をみがく」や、用語を説明した「解説」を見開きのページに設定するなど知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。	各見開きページごとに提示されるキーワードや、地理学習に必要な技能や資料活用能力が「スキルUP」に示されるなど、知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	1単位時間ごとに確認のコーナーが設けられ、キーワード・相違点・共通点など様々な視点でまとめることにより、思考力、判断力、表現力が育まれるよう配慮されている。	1単位時間ごとの「ふりかえる」では、習得した知識を振り返りそれらを活用しながら2段階でまとめる課題が設けられ、思考力、判断力、表現力が育まれるよう配慮されている。	1単位時間ごとの「説明しよう」や、単元末に設けた「探究しよう」などに自分の考えや判断をまとめる活動が設定され、思考力、判断力、表現力が育まれるよう配慮されている。	1単位時間ごとに「学習の確認と活用」を設け、学習内容を活用して表現する「学習のまとめ」を設定することで、思考力、判断力、表現力が育まれるよう配慮されている。
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	節のまとめや「世界のさまざまな地域の調査」における地域調査の手順を、生徒が作成したものを例として示すことで、主体的な学習活動を行えるよう配慮されている。	各見開きページには本文と関係のある内容が含まれた箇所を示す「関連ページ」と、主要場面には「読み解こう」が設定され、主体的に探究活動ができるよう工夫されている。	諸地域学習において、「序節」を設けて学習の進め方を示し、各節の導入では意欲を喚起する写真資料を多く取り入れるなど、主体的な学習活動を行えるよう工夫されている。	世界の諸地域の学習では「自由研究」を、日本の諸地域の学習では「地域からのメッセージ」を単元ごとに設けることで、主体的に考察できるよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	自然災害と防災、環境問題、領土に関する問題など現代社会が抱える諸課題について取り上げ、主体的に社会に参画する力を育てるよう配慮されている。	自然災害と防災、環境問題、領土に関する問題など現代社会が抱える諸課題について取り上げ、多面的・多角的な認識を深めるよう配慮されている。	自然災害と防災、環境問題、領土に関する問題など現代社会が抱える諸課題を取り上げ、諸地域を取りまき動向が捉えられるよう配慮されている。	自然災害と防災、エネルギー問題、環境問題、領土に関する問題など現代社会が抱える諸課題について取り上げ、認識が深まるよう配慮されている。
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	各編の導入において、小学校の学習を振り返ることと関連を図るとともに、分野関連マークが示されるなど他分野との関連が図られるよう工夫されている。	巻頭の「地理にアプローチ」で小学校との関連を図るとともに、「地理の窓」の「発展」において他教科などとの関連が図られるよう工夫されている。	身近な地域の調査で日本の諸地域との関連を図るとともに、共生、環境、防災の視点を取り上げ、他教科などとの関連が図られるよう工夫されている。	「連携コーナー」を示すなど小学校の学習や他分野との関連を図るとともに、「地理プラスα」で他教科などとの関連が図られるよう工夫されている。
2 組織配分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連付けについて	世界の諸地域や日本の諸地域において、3段階に構成された単元構成にすることで、地域的特色を捉え易いよう工夫されている。	諸地域学習に重点を置く構成とし、さらに節で区分することで、世界と日本の諸地域の地域的特色を捉え易いよう工夫されている。	気候帯や地形図の知識を基に諸地域学習を進められるような単元配列にすることで、地域的特色を捉え易いよう工夫されている。	世界や日本の諸地域学習において、地域の概要を節の導入4ページに盛り込むことで、地域的特色を捉え易いよう工夫されている。
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	章末ごとに「学習を確認しよう」が設けられ、本文中の重要用語を使いながら図や表にまとめる活動などを通して基礎的・基本的な内容の定着を図るよう工夫されている。	単元末に「学習のまとめと表現」が設けられ、学習内容を図や表に直接書き込み整理する活動などを通して基礎的・基本的な内容の定着を図るよう工夫されている。	節末に「学習をふりかえろう」が設けられ、重要用語を確認したのち、学習内容を説明する活動などを通して基礎的・基本的な内容の定着を図るよう工夫されている。	単元末に本文中の重要用語を確認する「チェックボックス」が設けられ、反復練習する活動などを通して基礎的・基本的な内容の定着を図るよう工夫されている。

調査票 1		種目名 (地理)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	帝国(46)	日文(116)	
	3	季節、社会的行事等、地域の 実情との関連付けについて	東日本大震災に関連して宮古市や釜石市の取組を1単位時間の学習内容として位置付け、身近な社会的対象として学習できるよう配慮されている。	東日本大震災に関連して山田町の神社例大祭の取組を発展的な学習として位置付け、身近な社会的対象として学習できるよう配慮されている。	東日本大震災に関連して宮古市の中学生が作成した復興の模範を写真資料として取り上げ、身近な社会的対象として学習できるよう配慮されている。	東日本大震災に関連して宮古市の石碑や大槌町の被害の様子を写真資料として取り上げ、身近な社会的対象として学習できるよう配慮されている。
	4	内容と分量のバランスについて	見開き2ページで1単位時間の学習内容が構成され、豊富な資料を掲載し、世界の諸地域学習では配当時間数で節による重点化を図り、学習内容と分量のバランスが配慮されている。	見開き2ページで1単位時間の学習内容が構成され、世界の諸地域学習では配当時間数で節による重点化を図り、側注解説を設けるなど学習内容と分量のバランスが配慮されている。	見開き2ページで1単位時間の学習内容が構成され、大判の資料を掲載し、諸地域学習では節ごとの配当時間数がほぼ同じであり、学習内容と分量のバランスが配慮されている。	見開き2ページで1単位時間の学習内容が構成され、多様な資料を掲載し、諸地域学習では節ごとの配当時間数がほぼ同じであり、学習内容と分量のバランスが配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句 や文章による表現について	平易な表現を使用し、生徒が一読して理解できるよう配慮されている。	資料の説明の欄を設け、生徒が容易に理解できるよう配慮されている。	重要用語の解説が丁寧で、生徒がすぐに理解できるよう配慮されている。	重要な用語について、生徒が一目で理解できるよう配慮されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、 記号、単位、挿絵、図版、 写真等の表記について	地図や主題図などを多用し、矢印や文字を補足することで、資料が分かり易いよう工夫されている。	グラフや雨温図などを大きく表記することで、資料として使い易く分かり易いよう工夫されている。	大きく多様な写真を多く使用し、紙面を有効に活用することで、資料が見易いよう工夫されている。	単元を通して共通の体裁で資料などを配置することで、学習を関連させ易いよう工夫されている。
	3	目次、索引、注、凡例、諸 表、出典等の使い易さへの 配慮について	巻末の統計・資料が地域ごとに色を分けて区分され、グラフも使用することで、生徒が理解し易いよう配慮されている。	巻末の「さくいん」において国名と用語の文字色を分けて表記することで、生徒が容易に調べ易いよう配慮されている。	巻頭の「もくじ」の行間に余裕をもたせ簡潔に表記することで、生徒が目的のページをすぐに見つけ易いよう配慮されている。	全てのページにおいて章ごとに色分けされたインデックスを設けることで、生徒がページを開き易いよう配慮されている。
	総合所見	興味・関心をもって問題解決的な学習に取り組めるよう構成され、3分野共通の資料により学習内容の関連が図られるよう工夫されている。 また、スキル・アップや確認のコーナーを設けることで地理的な技能を習得させるとともに、多様な単元末のまとめ方により思考力、判断力、表現力が育まれるよう配慮されている。	世界や日本の諸地域学習に重点を置き、問題解決的な学習に取り組むことで、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 また、単元が習得、活用、探究の流れで構成され、さらに様々な資料や視点を基にした言語活動を設け、思考力、判断力、表現力が身に付くよう配慮されている。	大判で見易い写真などを導入資料として豊富に用いて興味・関心を引き出し、主体的に問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。 また、学習の流れに沿って内容の理解を深められるよう見開きページに重要用語の解説を設け、振り返りにより基礎的・基本的な知識の習得が図られるよう配慮されている。	学習課題に基づいて問題解決的な学習を展開できるようになっており、基礎的・基本的な知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。 また、学習内容を活用して表現する活動を意識した振り返りの場を設定し、地理的事象に対する関心を高めるとともに、地理的認識を深めることができるよう配慮されている。	

調査票 1		種目名 (歴史)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	清水(35)	帝国(46)	日文(116)	
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	各章の終末に、学習した用語を説明したり年表を完成させたりすることにより、基礎的な知識及び技能が習得できるよう工夫されている。	各章の終末に、年表をもとに時代の変化や活躍した人物を確かめることにより、基礎的な知識及び技能が習得できるよう工夫されている。	各章の終末に、写真資料と年表をもとに時代の移り変わりや出来事を確かめることにより、基礎的な知識及び技能が習得できるよう工夫されている。	各章の終末に、その時代で学習したことを年表と地図で整理し確認することにより、基礎的な知識及び技能が習得できるよう工夫されている。	各編の終末に、学習したことを活用して時代の移り変わりの様子を確かめることにより、基礎的な知識及び技能が習得できるよう工夫されている。
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	単位時間ごとに説明や要約をする活動や、各章末で時代の特色を捉える言語活動を設け、思考力、判断力、表現力などを育むよう工夫されている。	単位時間ごとに歴史的対象について表現する活動や、各章末で時代の特色を説明する活動を設け、思考力、判断力、表現力などを育むよう工夫されている。	単位時間ごとに学習した内容をまとめる活動や、章末で政治や文化の特色を考える活動を設け、思考力、判断力、表現力などを育むよう工夫されている。	単位時間ごとに学習内容を活用して考える活動や、各部末で時代の特色を話し合う活動を設け、思考力、判断力、表現力などを育むよう工夫されている。	単位時間ごとに事象について説明する活動や、各編末で時代の転換の様子を表現する活動を設け、思考力、判断力、表現力などを育むよう工夫されている。
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	各章の導入に、時代をイメージする資料を時系列に掲載し、単元の見通しをもたせることにより、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各章の導入に、時代を概観できる資料を掲載し、単元を通した課題意識をもたせることにより、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各章の導入に、時代の特徴を示す資料を掲載し、単元を通した課題意識をもたせることにより、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各部の導入に、時代をイメージするイラストを掲載し、単元に対する興味・関心を高めることにより、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各編の導入に、時代を象徴する資料と地図を掲載し、単元を通した課題意識をもたせることにより、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	震災や領土などの現代の諸課題について取り上げ、社会とのかかわりを意識させるとともに、自分の考えをまとめる活動を設けることにより、言語活動が充実するよう配慮されている。	震災や領土などの現代の諸課題について取り上げ、社会を自分とのかかわりから多面的に考え、表現させる活動を設けることにより、言語活動が充実するよう配慮されている。	震災や少子高齢化などの現代の諸課題について取り上げ、社会を過去と現在の動きから多角的に考え、表現する活動を設けることにより、言語活動が充実するよう配慮されている。	震災や国境の画定などの現代の諸課題について取り上げ、社会を様々な資料から考え、自分の言葉でまとめる活動を設けることにより、言語活動が充実するよう配慮されている。	災害や外交など現代の諸課題について取り上げ、社会を自分たちとのかかわりから多角的に考え、表現する活動を設けることにより、言語活動が充実するよう配慮されている。
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	小学校の学習内容との系統性を重視するとともに、諸課題を豊富に取り上げ、総合的な学習の時間や地理・公民的分野との関連を図るよう工夫されている。	小学校の学習内容との関連性をもたせるとともに、テーマ学習により、総合的な学習の時間や地理・公民的分野との関連を図るよう工夫されている。	小学校の学習を振り返り、関連性を意識させるとともに、世界地図や資料により地理・公民的分野、総合的な学習の時間との関連を図るよう工夫されている。	歴史上の人物を振り返り、小学校との関連性をもたせるとともに、コラムを設けて多様な視点から地理・公民的分野との関連を図るよう工夫されている。	小学校の学習内容を振り返るとともに、各ページに小学校や地理・公民的分野等との結び付きを明記して関連を図るよう工夫されている。
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	各時代の学習内容を、各章の中で導入・展開・終結とページごとに役割をもたせ、時代の特色を構造的に理解できるように配列が工夫されている。	章末の年表で時代の特色を考える場面を設定し、前の時代や次の時代と比較させたり、差違を確認したりすることができるように配列が工夫されている。	章末に時代をまとめる活動のページを設定し、資料や重要語句を活用して理解を深めさせ、歴史的意義を考えられるように配列が工夫されている。	写真や絵図、資料などを多く活用し、歴史的対象の意味や意義を考えさせ、各時代の具体的なイメージをもてるように配列が工夫されている。	各時代の導入では時代を象徴する資料や写真を配置し、まとめでは年表を活用して時代の特色を捉えられるように配列が工夫されている。
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	学習課題に応じて学習したポイントをまとめ説明する活動を行うとともに、章末の問題に取り組むことにより、内容の定着が図られるよう配慮されている。	学習したことを整理しまとめる活動を行うとともに、年表を活用した章末の問題に取り組むことにより、内容の定着が図られるよう配慮されている。	学習課題をまとめる活動を行うとともに、年表や写真などを用いた章末の問題に取り組むことにより内容の定着が図られるよう配慮されている。	学習のポイントを本文から書き出したり説明したりする活動や、部末の「学習をふりかえろう」により内容の定着が図られるよう配慮されている。	学習課題をもとに学習内容について確認し説明する活動を行うとともに、編末の問題により時代の特色を捉えられるよう配慮されている。

調査票 1		種目名 (歴史)					
観点	項目・発行者名(番号)	自由社 (225)	育鵬社 (226)	学び舎 (229)			
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	各章の終末で重要語句を解説するページを設け、その時代の学習内容を確認することにより、基礎的な知識及び技能が習得できるよう工夫されている。	各章の終末で、政治や経済、文化などに分類しながら人物や出来事について確認することにより、基礎的な知識及び技能が習得できるよう工夫されている。	各章、各部ごとに人物や出来事、時代の特色について書き込みながら確かめることにより、基礎的な知識及び技能が習得できるよう工夫されている。		
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	単位時間ごとに、学習内容をまとめる活動や、各章末で時代の特色を表現する活動を通して、思考力、判断力、表現力などを育むよう工夫されている。	単位時間ごとに学習をまとめる活動や、各章末で各時代の歴史を大観する活動を設け、思考力、判断力、表現力などを育むよう工夫されている。	各部の冒頭で学習課題を示し、学習のまとめで時代の転換を振り返る言語活動を設定し、思考力、判断力、表現力などを育むよう工夫されている。		
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	各章の導入に、時代を象徴する出来事の資料を掲載し、単元に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各章の導入に、時代を象徴する人物に関する絵巻を掲載し、単元に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各章の導入に、時代を象徴する出来事を地図に位置付けて掲載し、単元に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。		
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	災害や領土などの現代の諸課題について取り上げ、国際社会とのかかわりから将来について考えさせ、表現する活動を設けることにより、言語活動が充実するよう配慮されている。	震災や外交などの現代の諸課題について取り上げ、日本の現状と将来について考えさせ、表現する活動を設けることにより、言語活動が充実するよう配慮されている。	震災や経済格差などの現代の諸課題について取り上げ、自分たちの生活とのかかわりから考える活動を章末に設けることにより、言語活動が充実するよう配慮されている。		
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	「歴史のとらえ方」から小学校との関連を図るとともに、コラムによって総合的な学習の時間や地理・公民的分野との関連を図るよう工夫されている。	「歴史絵巻」から小学校との関連性をもたせるとともに、人物の活動の様子によって、道徳、地理・公民的分野との関連を図るよう工夫されている。	小学校の学習内容を年表を使った活動で振り返るとともに、テーマごとの歴史地図によって地理・公民的分野などとの関連を図るよう工夫されている。		
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連付けについて	各章の初めに時代を象徴する資料のページを位置付け、これから学習する時代への関心を高めながら学習が進められるように配列が工夫されている。	各時代の導入に時代を象徴する人物や資料のページを位置付け、歴史の流れと時代の特色を捉え学習が進められるように配列が工夫されている。	各章の導入で地図上に位置付けた資料を示して学習課題を設け、各時代の特色を課題意識をもって学習できるように配列が工夫されている。		
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	単位時間の学習の要点を整理するとともに、章末で単元の重要語句をまとめた表で確認することにより、内容の定着が図られるよう配慮されている。	単位時間の学習内容を確認する活動を行うとともに、章末に学習した内容を振り返ることにより、内容の定着が図られるよう配慮されている。	章末の「ふりかえる」で、基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、部末の「学習のまとめ」で各時代の特色を捉えられるよう配慮されている。		

調査票1		種目名 (歴史)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	清水(35)	帝国(46)	日文(116)	
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	蝦夷の抵抗、奥州藤原氏、中尊寺金色堂、東日本大震災など、地域素材として活用できる事象が本文やコラム、写真で取り上げられている。	阿豆流為の戦い、奥州藤原氏、三閉伊一揆、後藤新平など、地域素材として活用できる事象がテーマ学習やコラム、写真で取り上げられている。	胆沢城、奥州藤原氏、平泉中尊寺金色堂など、地域素材として活用できる事象が、本文と写真、巻末の歴史的遺産図で取り上げられている。	金取遺跡の打製石器、蝦夷と東北支配、奥州藤原氏、宮沢賢治など、地域素材として活用できる事象が本文やコラム、写真で取り上げられている。	奥州藤原氏、中尊寺金色堂、東日本大震災前後の高田松原、姉吉の天津波記念碑など、地域素材として活用できる事象が本文や写真で取り上げられている。
	4	内容と分量のバランスについて	写真、絵画、文書資料など、各種資料を数多く配置し、精選された文章表現で学習内容と分量のバランスが配慮されている。	簡潔な文章表現と豊富な視覚資料を配置し、学習内容と分量のバランスに配慮するとともに、近現代史が重視されている。	簡潔な文章表現と各種資料を数多く配置し、学習内容と分量のバランスに配慮するとともに、世界とのつながりが重視されている。	簡潔な文章表現と豊富な視覚資料を配置し、学習内容と分量のバランスに配慮するとともに、文化史の内容が重視されている。	詳細な文章表現であり、豊富な図版や「歴史学習の基礎資料」を配置し、学習内容と分量のバランスが配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	本文は、平易な表現で記述され、重要語句は全て太字で扱い、因果関係や時系列などを分かり易く記述している。	本文は、平易な表現を用い、側注には用語解説を掲載するなど、読解に負担がかからないよう記述されている。	本文は、常体の平易な表現で分かり易く記述され、より詳しい説明を要する場合は側注や補説が記述されている。	歴史的事象の背景や因果関係まで丁寧で分かり易く説明されており、本文は敬体の平易な表現で記述されている。	重要な用語については解説を挿入して理解を図るとともに、文章は敬体の平易な表現で分かり易く記述されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	ワイドな紙面で資料を実物大で掲載し、3分野の関連マークで、学習内容が分かり易くなるよう工夫されている。	ワイドな紙面で、写真や図版、史料を豊富に用いた構成にし、学習内容が分かり易くなるよう工夫されている。	カラーの写真資料や文字資料、統計などを活用することにより、学習内容が分かり易くなるよう工夫されている。	ワイドな紙面で、図版、写真、イラストを大きく掲載することにより、学習内容が分かり易くなるよう工夫されている。	ワイドな紙面を生かして図版を豊富に掲載し、その様子を読み取ることにより、学習内容が分かり易くなるよう工夫されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるように配慮されている。	単位時間ごとに学習する時代をスケールで示し、歴史のつながりが捉えられるよう配慮されている。	本文中に番号を付し、それを同番号の側注で解説し、理解が図られるよう配慮されている。	人物索引では人物を凡例により分類し示すことで、人物理解がし易くなるよう配慮されている。	時代の特徴を理解する上で重要な用語を側注で解説し、より理解し易くなるよう配慮されている。
	総合所見	単位時間や単元の見通しを示すとともに、学年の発達段階に応じた言語活動を設定することにより、歴史的事象の意味や特色について考え表現する力を育むよう工夫されている。 また、多くの文化財や伝統的な文化を豊富に紹介することにより、我が国の歴史を理解し尊重しようとする態度を育むことができるよう配慮されている。	豊富な資料と用語の解説を掲載するとともに、単位時間や単元末に多様な言語活動を設けることにより、思考力、判断力、表現力を育むことができるよう工夫されている。 また、時代を掘り下げていく様々な特設ページを設定することにより、我が国の歴史について広い視野から考えることができるよう配慮されている。	明確な学習課題を示すとともに、歴史的事象について考察したりまとめたりする学習を展開することにより、時代の特色や大きな流れを把握できるよう工夫されている。 また、テーマ学習や発展的な学習により、興味・関心を高めながら主体的に学習を深めることができるよう配慮されている。	用語の解説を豊富に掲載するとともに、各部や単位時間を「見通し」と「振り返り」を大切にして展開することにより、時代を大観することができるよう工夫されている。 また、基礎的・基本的な技能を身に付けるコーナーや発展的な学習を通して、主体的に学習を深めていくことができるよう配慮されている。	学習の方向性を明確に示すとともに、学習内容の習得と活用を大切にすることにより、歴史的事象の意味や時代の特色について考えることができるよう工夫されている。 また、社会的事象の背景や先人の働きについて取り上げ、我が国の歴史や伝統を尊重しようとする態度を育むことができるよう配慮されている。	

調査票 1		種目名 (歴史)					
観点	項目・発行者名(番号)	自由社 (225)	育鵬社 (226)	学び舎 (229)			
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	伝統的工芸品としての南部鉄器、前九年の役、奥州藤原氏、後藤新平など、地域素材として活用できる事象が資料や写真として取り上げられている。	蝦夷の首長アテルイ、奥州藤原氏、中尊寺金色堂、平泉、高野長英など、地域素材として活用できる事象が本文や写真で取り上げられている。	蝦夷の人びと、奥州藤原氏、中尊寺金色堂、三閉伊一揆、高野長英など、地域素材として活用できる事象が本文や写真、コラムで取り上げられている。		
	4	内容と分量のバランスについて	詳細な文章表現であり、豊富な視覚資料や系図、コラムを配置し、学習内容と分量のバランスが配慮されている。	詳細な文章表現であり、豊富な視覚資料や多様なコラムを配置し、学習内容と分量のバランスが配慮されている。	詳細な文章で表現しており、精選された視覚資料やコラムを配置し、学習内容と分量のバランスが配慮されている。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	章末に100字用語解説を加えて理解を図るとともに、文章は常体の平易な表現で、学習内容が分かり易く記述されている。	重要語句、重要人物は、太字で表記されており、本文の語句に注釈を適宜加えて理解を図るよう記述されている。	本文の内容に関する注釈を加えて理解を図るとともに、文章は敬体の平易な表現で分かり易く記述されている。		
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	深める資料を精選して配置したり、学習課題に通し番号を付けたりして、分かり易くなるように工夫されている。	ワイドな紙面を用い、豊富な図版や資料で、章の最初にイラストや写真で紹介するなど、分かり易くなるように工夫されている。	大きな紙面で、実物大の写真や現物の写真、図版を掲載することにより、分かり易くなるように工夫されている。		
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	本文中の語彙に青色数字を付し、関連事項が記述している場所が分かり易くなるよう配慮されている。	人物索引では、学習した重要人物を太字で表記することで、分かり易くなるよう配慮されている。	章ごとにタイトルが色分けされ、章や学習内容のまとまりが明確になるよう配慮されている。		
	総合所見	用語について丁寧に解説するとともに、各章末で人物比較や意見交換などの学習活動を取り入れることにより、歴史的な見方や考え方を養うことができるよう工夫されている。 また、読み物資料を豊富に取り入れ、興味・関心を高めながら、我が国の歴史や文化に対する理解を深めることができるよう配慮されている。	資料を効果的に配するとともに、それらを活用した言語活動を設けることにより、学習内容への理解を深め、思考力、判断力、表現力の育成を図ることができるよう工夫されている。 また、人物の業績や文化遺産などを取り上げた教材を豊富に掲載し、我が国の伝統や文化の特色を学ぶことができるよう配慮されている。	学習内容を焦点化するとともに、単元の振り返りや学習のまとめを大切にすることにより、基礎的・基本的な内容や時代の特色への理解が図られるよう工夫されている。 また、大判の資料と豊富な記述を配し、それらを関連付けながら読み取ることにより歴史への興味・関心を高めることができるよう配慮されている。			

調査票 1		種目名 (公民)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	清水(35)	帝国(46)	日文(116)	
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	単位時間の「学習課題」から「確認」までの流れを構造的に示すことにより、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	「読み解こう」や単位時間の学習内容を確認する「ふりかえる」を設定することで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	単位時間の学習の「目標」を設定し、本文などに学習内容を詳しく記述することにより、基礎的・基本的な知識の習得が図られるよう工夫されている。	「資料活用」や単位時間の学習内容を振り返る「確認しよう」を設定することで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	単位時間の学習課題に対応した「学習の確認」により、振り返りを行うことで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	「深めよう」を設定し、学習した内容を活用しながらテーマを決めて話し合うことで、思考力、判断力、表現力などが育まれるよう工夫されている。	「言葉で伝え合おう」を設定し、学習した内容を活用しながら文章にまとめたこと、思考力、判断力、表現力などが育まれるよう工夫されている。	「調査」を設定し、学習した内容を活用しながら調べたりまとめたりすること、思考力、判断力、表現力などが育まれるよう工夫されている。	「トライアル公民」を設定し、学習した内容を活用しながら視点を決めて話し合うことで、思考力、判断力、表現力などが育まれるよう工夫されている。	「チャレンジ公民」を設定し、学習した内容を活用しながら様々な方法で話し合うことで、思考力、判断力、表現力などが育まれるよう工夫されている。
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	各章の導入に言語活動を生かした「やってみよう」を設定し、学習への興味・関心を喚起し、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各章の導入に章の学習のねらいを明らかにした「はじめに」を設定し、学習への興味・関心を喚起し、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各編の導入で学習内容に深く関連する人物を取り上げ、学習への興味・関心を喚起し、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各部の導入に身近な生活をテーマとした「学習の前に」を設定し、学習への興味・関心を喚起し、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各編の導入にイラストや新聞記事で考える「ナビ」を設定し、学習の内容を概観させることにより、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	多様な言語活動を設けるとともに、人権や領土に関する問題など、社会の諸課題について豊富に取り上げ、現代社会の見方や考え方の基礎を養えるよう配慮されている。	多様な言語活動を設けるとともに、人権や近隣諸国との外交に関する問題など、社会の諸課題について豊富に取り上げ、現代社会の見方や考え方の基礎を養えるよう配慮されている。	効果的な言語活動がなされるよう、憲法、人権や国際平和に関する問題など、社会の諸課題について豊富に取り上げ、現代社会の見方や考え方の基礎を養えるよう配慮されている。	多様な言語活動を設けるとともに、人権や少子高齢社会に関する問題など、社会の諸課題について豊富に取り上げ、現代社会の見方や考え方の基礎を養えるよう配慮されている。	豊富に言語活動を設けるとともに、人権や国際平和に関する問題など、社会の諸課題について豊富に取り上げ、現代社会の見方や考え方の基礎を養えるよう配慮されている。
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	「深めよう」や「公民にアクセス」により、地理・歴史の学習を生かし、社会的事象を多面的・多角的に捉えられるよう配慮されている。	「公民の窓」や「クリップ」の学習コラムにより、他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などとの関連がなされるよう配慮されている。	各編の導入で取り上げる人物や「深める公民」により、地理・歴史の学習を生かし、社会的事象を多面的・多角的に捉えられるよう配慮されている。	社会が直面する課題についてのコラムを設け、他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などとの関連がなされるよう配慮されている。	「公民+α」、「タイムトラベル」や「日本が世界に提供できる価値」のコラムにより、地理・歴史の学習が生かされるよう配慮されている。
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	各章の初めに学習に興味・関心をもたせる導入部を設定し、章末と関連付けることで、学習の流れを明確にし、学習成果を活用できるよう工夫されている。	各章の初めに「章のねらい」を示し、奇数ページの下に「学習パート」を示すことで章のねらいや題材の配列・関連が分かり易いよう工夫されている。	各編の初めに人物を取り上げ、学習内容と関連付けることで興味・関心を喚起するとともに各編の学習内容が系統的に捉えられるよう工夫されている。	各部の初めに学習者が興味・関心をもち易い導入のページを設定し、単元の系統性を理解してから学習に入ることができるよう工夫されている。	各編の初めに「ナビ」を設定し、学習に対する興味・関心を高め、各編末の「チャレンジ公民」で習得した知識などを活用できるよう工夫されている。
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	章末に「この章の学習を確認しよう」を設けることで、基礎的・基本的な内容の定着を図ることができるよう配慮されている。	章末に「学習のまとめと表現」を設けることで、基礎的・基本的な内容の定着を図ることができるよう配慮されている。	章末に学習内容を確認する「まとめ」を設けることで、基礎的・基本的な内容の定着を図ることができるよう配慮されている。	章末に「学習を振り返ろう」を設けることで、基礎的・基本的な内容の定着を図ることができるよう配慮されている。	章末に「学習の整理と活用」を設けることで、基礎的・基本的な内容の定着を図ることができるよう配慮されている。

調査票 1		種目名 (公民)				
観点	項目・発行者名(番号)	自由社(225)	育鵬社(226)			
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	単位時間の学習課題を設定し、「ここがポイント」に学習の要点を示すことで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。	単位時間毎に「学習のまとめ」を設定し、学習内容の振り返りを行うことで、基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図られるよう工夫されている。		
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	章毎に「学習の発展」を設定し、学習した内容を活用しながら文章にまとめたりすることで、思考力、判断力、表現力などが育まれるよう工夫されている。	「やってみよう」を設定し、学習した内容を活用しながらテーマを決めて話し合うことで、思考力、判断力、表現力などが育まれるよう工夫されている。		
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	分かり易い写真や図表を生かした「もっと知りたい」を設定し、学習への興味・関心を喚起し、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	各章の導入に言語活動を生かした「入り口」を設定し、学習への興味・関心を喚起し、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。		
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	終章に言語活動を設けるとともに、国際平和や領土に関する問題など、社会の諸課題について取り上げ、現代社会の見方や考え方の基礎を養えるよう配慮されている。	多様な言語活動を設けるとともに、安全保障や領土に関する問題など、社会の諸課題について豊富に取り上げ、現代社会の見方や考え方の基礎を養えるよう配慮されている。		
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などとの関連及び他学年の内容との関連について	「もっと知りたい」や「ミニ知識」により、他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などとの関連が図られるよう配慮されている。	「理解を深めよう」や「考えよう」により、他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などとの関連が図られるよう配慮されている。		
2 組織配分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連付けについて	教科書の初めに教科書の使い方を説明するページを設け、学習の進め方を示すことで、見通しを持って学習を進めることができるよう工夫されている。	各章の初めに「入り口」を設定し、興味・関心を喚起するとともに、学習の流れを明確に捉えさせてから単元の学習に入ることができるよう工夫されている。		
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	章末に「学習のまとめと発展」を設けることで、基礎的・基本的な内容の定着を図ることができるよう配慮されている。	章末に「学習のまとめ」を設けることで、基礎的・基本的な内容の定着を図ることができるよう配慮されている。		

調査票 1		種目名 (公民)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	教出(17)	清水(35)	帝国(46)	日文(116)	
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	東日本大震災を通して、現代社会の特徴や課題を多岐にわたり扱うなど、地域の実情との関連付けが図られている。	東日本大震災を通して、現代社会や地域社会の様々な課題を扱うなど、地域の実情との関連付けが図られている。	東日本大震災を通して、持続可能な社会へ向けての取組を扱うなど、地域の実情との関連付けが図られている。	東日本大震災を通して、地域社会の課題や防災にかかわる取組を扱うなど、地域の実情との関連付けが図られている。	東日本大震災を通して、持続可能な社会やエネルギー問題を扱うなど、地域の実情との関連付けが図られている。
	4	内容と分量のバランスについて	各単元をバランスよく配置するとともに、配当時間を抑え、テーマページの選択により学習を重点化できるよう工夫されている。	各単元をバランスよく配置するとともに、配当時間を十分確保し、より丁寧に学ぶことができるよう工夫されている。	全体として経済単元に重点を置きながらも、全体の配当時間を抑え、より柔軟な指導計画が作成できるよう工夫されている。	各単元をバランスよく配置するとともに、配当時間を抑え、より柔軟に指導計画を作成できるよう工夫されている。	法と金融に関する学習に重点を置きながらも、全体の配当時間を抑え、余裕をもって学習できるよう工夫されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	項目の中心になる内容を最初に示し、その後詳細な説明を加える本文構成で、学習内容の理解がし易くなるよう配慮されている。	具体例や実社会の動きを交えながら、各項目を詳細に記述することで、学習内容の理解がし易くなるよう配慮されている。	本文の中に具体的な問いかけを多く配することで、視点を明確にしながら、学習内容を理解していけるよう配慮されている。	因果関係を意識しながら要点を整理し、平易な文章を用いて記述することで、分かり易い説明になるよう配慮されている。	学習内容を精選し、事項の意味や因果関係を要点を絞って記述することで、学習内容の理解がし易くなるよう配慮されている。
	-2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	多くの資料を効果的に配置して掲載したり、本文中に関連する資料の番号を示したりするなど、学習内容の理解を深められるよう配慮されている。	学習課題と学習のまとめの視点を明確に示したり、資料の解説文や側注の数を増やしたりするなど、学習内容の理解を深められるよう工夫されている。	資料に写真や図を多く用いたり、側注と参照の数を増やして本文を補完したりするなど、学習内容のイメージや理解を深められるよう工夫されている。	学習内容と実社会を結び付ける資料を明示したり、様々な記号を用いて学習の視点を示したりするなど、学習内容の理解を深められるよう工夫されている。	学習課題と学習のまとめの視点、重要語句を明示したり、様々な問いや学習活動を示したりするなど、学習内容の理解を深められるよう工夫されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	巻頭、巻末に持続可能な社会の実現について考えさせる写真、現代社会の年表や地図、法令集や用語解説を掲載するなど、使い易さに配慮されている。	巻頭で公民の学習や教科書の使い方について具体的に記述したり、ページの数字の横に章と学習パートを示したりするなど、使い易さに配慮されている。	編毎に紙面の色を変えて見易くしたり、巻頭に現代社会の地図を、巻末に現代社会の年表を掲載したりするなど、使い易さに配慮されている。	紙面にインデックスを付けて色分けしたり、巻末に年表や学習内容と中学生の活動を結び付ける写真を掲載したりするなど、使い易さに配慮されている。	紙面に学習内容の位置付けを示したインデックスを付したり、巻末に用語解説とともに類似用語集を掲載したりするなど、使い易さに配慮されている。
	総合所見	整理された本文の記述と豊富な資料を効果的に結び付けるとともに、導入部、展開部、まとめと内容を構成することで、問題解決的な学習に主体的に取り組めるよう工夫されている。 単位時間のまとめには、日常的、段階的に言語活動を設定することで思考力、判断力、表現力を養えるよう配慮されている。	本文の記述量、側注、資料数と資料の解説文を充実させるとともに、思考、判断、表現する多様な視点を示すことで、問題解決的な学習に主体的に取り組めるよう工夫されている。 コラムやテーマ学習を多く設定し、学習の深化や言語活動の充実など、個に応じた学習にも対応していけるよう配慮されている。	単位時間毎の学習目標の設定、本文中の具体的な問いかけ、本文と側注による詳細な説明により、基礎的・基本的な知識の習得を図られるよう工夫されている。 各編の導入に人物を取り上げ、特設ページを効果的に設定することで、現代社会についてより深く考えられるよう配慮されている。	各部の導入として「学習の前に」を設定し、学習内容に即したシミュレーション仕立ての学習場面を設定し、問題解決的な学習を行うことで、主体的に学習できるよう工夫されている。 グラフや図表などの資料に読み取りの視点を示すことで資料を活用する能力が身に付けられるよう配慮されている。	単位時間毎の学習の流れを明確にし、内容や資料を精選することで基礎的・基本的な知識や技能の習得を図ることができるよう工夫されている。 随所に社会的事象の解釈や事象間の関連について説明する言語活動を取り入れることで思考力、判断力、表現力を養えるよう配慮されている。	

調査票 1		種目名 (公民)		自由社(225)	育鵬社(226)			
観点	項目・発行者名(番号)							
	3	季節、社会的行事など、地域の実情との関連付けについて	東日本大震災を通して、エネルギー問題や自衛隊の支援活動を扱うなど、地域の実情との関連付けが図られている。	東日本大震災を通して、地域社会の活動や国際社会の支援を扱うなど、地域の実情との関連付けが図られている。				
	4	内容と分量のバランスについて	各単元をバランスよく配置するとともに、配当時間を抑え、発展的な学習に十分時間を確保できるよう工夫されている。	各単元をバランスよく配置するとともに、現代社会に関する記述を充実させ、多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。				
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	本文の記述量を増やし、内容を整理して筋道立てて記述することで、読んで内容の理解が促されるよう配慮されている。	実社会の動きや社会的事象にかかわる専門用語を比較的多く使用し、学習内容をより深く理解できるよう配慮されている。				
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真などの表記について	側注の数と記述量を増やして本文を補完したり、学習内容の要点をまとめて示したりするなど、学習内容の理解を深められるよう工夫されている。	多くの新聞記事を資料として活用したり、グラフ、図などの資料を大きく、見やすくしたりするなど、学習内容の理解を深められるよう工夫されている。				
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典などの使い易さへの配慮について	巻末に30からなる法令集や日本の領域を示した地図を掲載したり、本文の重要語句をすべて索引に掲載したりするなど、使い易さに配慮されている。	巻頭、巻末に学習内容に関連した多くの写真、公民の学習の説明、学習に役立つウェブサイト、法令集を掲載するなど、使い易さに配慮されている。				
	総合所見		本文や側注の記述量を増やし、読むことで学習内容の理解を深められるようにするとともに、章毎に学習のまとめを設定し、学習内容の習得や活用が図られるよう工夫されている。 学習内容を深化、発展させる特設ページを多く設定することで、現代社会の動きについてより深く考えられるよう配慮されている。	各章に導入のページを設定し、言語活動などに取り組むことで、興味・関心の喚起や学習内容のイメージ化を図りながら、学習に主体的に取り組めるよう工夫されている。 新聞記事資料や今日的な課題についての記述を増やすことで、社会的事象に対する見方や考え方を養えるよう配慮されている。				

調査票1		種目名 (地図)				
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	帝国(46)			
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	巻頭では一般図や主題図などの使い方を解説し、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう配慮されている。	巻頭では地図帳の基本的な見方や使い方を解説し、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう配慮されている。		
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	学習の各段階での資料を明確化し、基礎力の向上と思考力、判断力、表現力を複数の資料を関連させながら育成されるよう配慮されている。	防災における地域の地図や模式図において詳細で多角的な見方も提示しながら、思考力、判断力、表現力が育成されるよう配慮されている。		
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	生徒が資料に親しみをもてるよう多くの吹き出しを取り入れるなどの工夫により、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	「やってみよう」「地図をみる目」で学習の手がかりなどを提示することにより、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。		
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	基本資料とテーマ資料を掲載し、調べたり説明したりする学習や今日的課題に対応できるよう配慮されている。	多くの情報を網羅した一般図と資料図を掲載し、調べたり説明したりする学習や今日的課題に対応できるよう配慮されている。		
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	世界と日本の文化や伝統を取り上げた具体的な資料を多く掲載することで、地域の特色を理解し、他教科などとの関連が図られるよう配慮されている。	各産業や人々のくらしの様子にかかわる資料を豊富に掲載する中で、各国の文化や環境問題にも触れ、他教科などとの関連が図られるよう配慮されている。		
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	学習場面で使用する資料が明確になるよう、全体の資料、一般図、基本資料、テーマ資料で構成するなど工夫されている。	大きく世界と日本に分け地域の特色を具体的に読み取れるように、一般図、概観図、資料図で構成するなど工夫されている。		
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	資料の比較や反復ができるよう、関連資料の掲載ページやタイトルを相互に示すなど、基礎的・基本的な内容の定着が図られるよう配慮されている。	模式図を多く掲載することで、土地利用の変化の読み取りや比較をし易くするなど、基礎的・基本的な内容の定着が図られるよう配慮されている。		

調査票 1		種目名 (地図)		東書(2)	帝国(46)		
観点	項目・発行者名(番号)						
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	ご当地キャラクターなど具体的で分かり易い表現をするとともに震災からの復興を取り上げるなど工夫されている。	一般図の中に地域の様々な情報や旧地名を掲載するとともに震災からの復興を取り上げるなど工夫されている。			
	4	内容と分量のバランスについて	地図、グラフ、写真などの資料をバランスよく掲載し、社会科の学習内容を焦点化できるよう配慮されている。	社会科の学習をより深化させるために様々な資料を掲載し、多くの情報の中から取捨選択できるよう配慮されている。			
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	地図中の地名には、ふりがなを付したり、写真の解説には平易な敬体を用いたりするなど分かり易さに配慮されている。	地図中の地名にはすべてふりがなを付したり、難しい用語には注釈を加えたりするなど分かり易さに配慮されている。			
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	一般図を明るめの色づかいにし、国境や鉄道などの情報を整理して、文字情報を見やすくし、内容の把握が平易になるよう工夫されている。	同緯度、同縮尺の地図を挿入し、位置関係などの分かり易さに配慮するとともに、隣接ページを提示し、使い易くなるよう工夫されている。			
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	索引を世界と日本で大きく色分けしたり、巻末に「資料さくいん」を設けたりするなど検索性を高めるよう配慮されている。	巻頭の凡例を大きく示したり、一般図の各ページには凡例と特別凡例を示したりするなど、活用し易いよう配慮されている。			
	総合所見		学習の進め方を意識したテーマ資料を選定し、見易さや使い易さに重点を置くなど工夫されている。また、今日的課題を取り入れながら、生徒の関心や意欲を引き出し、効果的で焦点化された学習ができるよう配慮されている。	鳥瞰図や衛星画像を多く掲載し、より視覚的に地域の特色を把握できるよう工夫されている。また、今日的課題にも注目した資料を充実させるなど、豊富な情報を取り入れ、多様な学習に対応できるよう配慮されている。			

調査票 1	種目名 (数学)						
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	啓林館(61)	
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	「例」「たしかめ」として「問」という問題の配列の工夫により、生徒の思考に沿って基礎的・基本的な内容が確実に習得されるよう配慮されている。	既習事項とのつながりを大切に、丁寧な導入で授業展開の見通しをもたせるようにし、基礎的・基本的な内容が確実に習得されるよう配慮されている。	導入で、前学年までの既習事項を確認し、節末や章末の練習問題を通して、基礎的・基本的な内容が確実に習得されるよう配慮されている。	章の冒頭でレディネスを確認し、章末で章の学びを振り返ってまとめる場を設けるなど、基礎的・基本的な内容が確実に習得されるよう配慮されている。	既習事項を側注に示し、丁寧な解説や段階的な授業展開、豊富な操作的活動などにより、基礎的・基本的な内容が確実に習得されるよう配慮されている。
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	日常生活や社会への活用を重視し、学力調査の類題を取り上げ、数学の有用性を実感させるなど、思考力や表現力を育むよう工夫されている。	章の学習内容を利用する節を設け、事象を数理的に捉え数学の有用性を実感させるなど、思考力、判断力、表現力などを育むよう工夫されている。	身の回りの場面や数学の学習に活用する課題を章末に位置付け、学力調査と同様の読解力などを養い、思考力や表現力を育むよう工夫されている。	具体的な事例を通して数学の学習で大切にしたい考え方を示し、多様な考え方ができる課題などを通して思考力や表現力を育むよう工夫されている。	思考を広げるときの視点を意識できるようにし、よりよい考えへと高める場面などを設定し、思考力、判断力、表現力などを育むよう工夫されている。
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	学習課題を示し、数学的活動を促すとともに、側注に問題解決の進め方を示し、主体的な学習を促すよう工夫されている。	数学的活動について、見通しをもち、計画を立てて実行し、結果を考察・判断する主体的な学習を促すよう工夫されている。	話し合い活動や観察、操作や実験などを取り入れ、学習のねらいを明確にし、主体的な学習を促すよう工夫されている。	章の導入の数学的活動を通して学習への動機付けができるようにし、主体的な学習を促すよう工夫されている。	数学的活動を取り入れた「学習のとびら」を節ごとに設定するなど、主体的な学習を促すよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	式や図などを使って、考えを説明し伝え合い深めていく言語活動を取り入れ、数学的な考え方を伸ばすよう工夫されている。	説明し合う活動やお互いの考えを発表し合う活動を取り入れ、積極的に取り入れ、数学的な考え方を伸ばすよう工夫されている。	レポートの作り方や発表表、その聞き方を示し、よりよいレポートに改善するなど、数学的な考え方を伸ばすよう工夫されている。	自分の考えを説明したり、まとめたり、話し合ったりする課題を設定し、数学的な考え方を伸ばすよう工夫されている。	協働学習により、理解を深められるような話し合いの場面を設定し、数学的な考え方を伸ばすよう工夫されている。
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などとの関連及び他学年の内容との関連について	キャリア教育との関連を図り、渋滞学、スポーツのデータ分析などを取り上げ、数学を学ぶことのよさを実感できるよう配慮されている。	「社会にリンク」で、実社会で活躍する様々な職業の人物によるコラムを紹介し、数学を学ぶことのよさを実感できるよう配慮されている。	クリーンエネルギーなどの環境問題や国際理解、日本の伝統文化などを取り上げ、数学を学ぶことのよさを実感できるよう配慮されている。	陸上トラックのレーンによる距離の差など、学校生活の場面に結び付けた話題を取り上げ、数学を学ぶことのよさを実感できるよう配慮されている。	光の反射と鏡の大きさなど、理科や社会、美術などと関連のある題材を取り上げ、数学を学ぶことのよさを実感できるよう配慮されている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	小学校算数の内容と連携し学習の系統性を意識してスパイラルに扱ったり、高等学校への接続を図ったりできる配列となるよう配慮されている。	実生活とのつながりを実感し意欲的に学習できるような章の扉を美しい写真で構成し、数学を学ぶ意義を重視した配列となるよう配慮されている。	小学校算数や前学年までの内容と連携を図る領域末の「ふりかえり」と、巻末の「高校へのかけ橋」で、興味・関心をもてる配列になるよう配慮されている。	章の扉で学習内容の見通しをもたせた上で既習事項を振り返るようにし、必然性のある導入により生徒が主体的に学習できるよう配慮されている。	数学の有用性を実感し、学び直しの機会を設定したり見通しをもったりする別冊「MathNaviブック」で、系統性を重視して学習できるよう配慮されている。
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	既習事項や補充の関連ページや習熟度に応じた練習問題を側注に示し、基礎的・基本的な内容が習得されるよう配慮されている。	既習事項を側注で振り返ったり、練習問題を豊富に設けたりするなど、基礎的・基本的な内容が習得されるよう配慮されている。	「数と式」領域に、実態に応じて計算技能の習熟を図る練習問題を設け、基礎的・基本的な内容が習得されるよう配慮されている。	領域ごとに学年をまたいで反復練習できるようにするなど、基礎的・基本的な内容が習得されるよう配慮されている。	章末や巻末などに関連ページを示しながら練習問題を設け、基礎的・基本的な内容が習得されるよう配慮されている。

調査票1		種目名 (数学)				
観点	項目・発行者名(番号)	数研(104)	日文(116)			
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	要点や関連ページを側注に示すことで、必要に応じて生徒が自分で確認できるようにし、基礎的・基本的な内容が確実に習得されるよう配慮されている。	節末や章末では、生徒の実態に応じて豊富な練習問題に取り組めるようにするなど、基礎的・基本的な内容が確実に習得されるよう配慮されている。		
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	学習内容の系統性に配慮しながら、積極的に発展的な内容を取り上げ、生徒の実態に応じて思考力や問題解決能力を育むことができるよう工夫されている。	方法や理由の説明などを数学的な表現を用いて説明する記述問題を章末に位置付け、思考力、判断力、表現力などを育むよう工夫されている。		
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	本文の丁寧な説明に加え、生徒の気付きや数学的活動につなげる場面を設定し、主体的な学習を促すよう工夫されている。	学びの必然性を重視した章の導入により、学習意欲を喚起するなど、主体的な学習を促すよう工夫されている。		
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	学んだことを活用したり、考えを説明したりするなど、数学的活動の目的を示し、数学的な考え方を伸ばすよう工夫されている。	初出の用語についてはその用語を使った表現の具体例を示すなど、数学的な考え方を伸ばすよう工夫されている。		
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などとの関連及び他学年の内容との関連について	リレーのバトンパスなど、他教科の活動について数学的に考察する場面を設定し、数学を学ぶことよさを実感できるよう配慮されている。	国語辞典の項目数調べや日本の伝統文化、理科、保健体育に関連した内容を取り上げるなど、数学を学ぶことよさを実感できるよう配慮されている。		
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	巻頭で前の学年までの既習事項を確認できるようにするなど、生徒が学びのつながりを意識し、体系的な理解を深められる配列となるよう配慮されている。	側注に章末の補充問題へのリンクを示し、章末に活用問題を位置付けるなど、学習内容の関連が分かり易い配列となるよう配慮されている。		
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	平易なものから発展的なものまで幅広く練習問題を設け、基礎的・基本的な内容が習得されるよう配慮されている。	本文や巻末などに、反復練習や学力調査にかかわる問題を取り上げ、基礎的・基本的な内容が習得されるよう配慮されている。		

調査票1		種目名 (数学)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	啓林館(61)	
	3	季節、社会的行事など、地域の実情との関連付けについて	学校生活やリサイクル活動などを題材として取り上げ、問題解決の必要性や数学の有用性を実感できるよう配慮されている。	日本の伝統文化や行事、他国における数学の歴史や文化などの題材を取り上げ、数学の有用性を実感できるよう配慮されている。	都道府県の人口データを取り上げ、自分の住む地域について数学を活用して調べ、数学の有用性を実感できるよう配慮されている。	二酸化炭素濃度の考察など、環境保全や身の回りに関する話題を取り上げ、数学の有用性を実感できるよう配慮されている。	防災や環境に関する場面やキャリア教育に関する題材を取り上げ、数学の有用性を実感できるよう配慮されている。
	4	内容と分量のバランスについて	習得と活用のサイクルで生徒が主体的に学習できるよう、内容と分量のバランスが工夫され、ゆとりをもって学習できるよう配慮されている。	見開き単位の構成で、生徒が学習の見通しをもてるよう、内容と分量のバランスが工夫され、ゆとりをもって学習できるよう配慮されている。	章末の練習問題を基本、応用、活用の3つに分けて設定するなど、内容と分量のバランスが工夫され、ゆとりをもって学習できるよう配慮されている。	生徒の実態に応じて取り組める課題を豊富に取り上げるなど、内容と分量のバランスが工夫され、ゆとりをもって学習できるよう配慮されている。	興味をもって自発的に取り組める課題や練習問題を充実させるなど、内容と分量のバランスが工夫され、ゆとりをもって学習できるよう配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	生徒の実態を踏まえ、つまづき易い問題の誤答例を示し、巻末の解説や正答例で、自学自習し易いよう配慮されている。	導入問題から、学習のねらいの提示、学習活動までの記述が丁寧で、無理なく学習が展開できるよう配慮されている。	生徒の素朴な問いを「クローズアップ」で取り上げ、関連する数学史などを紹介し、興味・関心を喚起するよう配慮されている。	生徒がつまづき易い学習内容について、誤答例や関連ページを示すなど、要点を掴み易くなるよう配慮されている。	既習事項との関連や身に付けさせたい数学的な見方や考え方が明確に示され、分かり易いよう配慮されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真などの表記について	全ページにわたって文節で改行したり、生徒のノートに記述例を示したりするなど、分かり易さに配慮した表記になっている。	文字の大きさを1年と2、3年で変えたり、正答例を黒板形式で示したりするなど、分かり易さに配慮した表記になっている。	章に1カ所、重点となる数学的活動の目的が明確になるようマークで示すなど、分かり易さに配慮した表記になっている。	公式や定理のまとめを図を用いて視覚的にも捉えられるようにするなど、分かり易さに配慮した表記になっている。	学習内容と関連した写真や色使いを工夫した図や表を用いて説明するなど、分かり易さに配慮した表記になっている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典などの使い易さへの配慮について	索引に図や式を掲載したり、目次に既習の関連する内容を示したりするなど、学び直しの機会を設定し易いよう配慮されている。	章の扉に目次を配置し、生徒が章の学習に対して興味・関心をもって主体的に取り組めるように配慮されている。	類推・帰納・演繹の考え方を巻頭で取り上げ、該当ページの側注に示すことで、数学的な考え方が身に付くよう配慮されている。	巻末の学習内容のまとめにより振り返りを促すとともに、索引に用語の英表記も掲載し、興味をもてるように配慮されている。	章末や巻末の問題の正答例を別冊に掲載し、教科書を開いたまま解答を確認できるなど、学習し易いよう工夫されている。
	総合所見	見通しと振り返りの活動や言語活動の充実を重視し、思考力、判断力、表現力などが育つよう配慮されている。また、学力調査などで課題が見られる内容の充実を図るとともに、家庭学習やノート指導がし易い構成で、自学自習を促進するなど、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られるよう工夫されている。	数学が社会で活用されている話題を数多く取り上げ、数学を学ぶことのよさを実感できるよう配慮されている。また、導入を丁寧に扱い、数学的活動を具体的に示し、学習の流れを分かり易く構成することで、個に応じて繰り返し練習し、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られるよう工夫されている。	類推・帰納・演繹という数学的な推論の進め方を巻頭に示し、典型的な箇所に示されている考え方を示すなど、思考力や表現力が育つよう配慮されている。また、問題数を確保し、計算技能の習熟を図るなど、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られるよう工夫されている。	数学的活動を通して、主体的に学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などが育つよう配慮されている。また、章のレディネスを確認して学習を進められるようにしたほか、必要に応じて関連する既習事項を振り返ることができるようになるなど、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られるよう工夫されている。	学習する上で重要な見方や考え方を示し、数学的思考力が育つよう配慮されている。また、系統性を重視し、学び直しの機会を設定したり見通しをもたせたりすることで、数学の有用性や学習意欲の向上などにつながる、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られるよう工夫されている。	

調査票 1		種目名 (数学)		数研(104)	日文(116)		
観点	項目・発行者名(番号)						
	3	季節、社会的行事など、地域の実情との関連付けについて	少子高齢化や地球温暖化の問題など、社会や自然科学に関する題材を取り上げ、数学の有用性を実感できるように配慮されている。	LED電球や宅配便の料金など、身の回りにある題材を数学的に考察し、数学の有用性を実感できるように配慮されている。			
	4	内容と分量のバランスについて	生徒の実態に応じて練習問題や発展問題に取り組めるよう内容と分量のバランスが工夫され、ゆとりをもって学習できるように配慮されている。	学習目標を示した上で、1項目を1時間の学習内容として、内容と分量のバランスが工夫され、ゆとりをもって学習できるように配慮されている。			
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	例題を通して問題解決の過程や考え方を丁寧に示し、完全反復の問題によって確実な定着が図られるよう配慮されている。	生徒が興味・関心に応じて家庭学習に活用できるよう、学習の手順を簡潔に示し、取り組み易いよう配慮されている。			
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真などの表記について	書き込みスペースを十分にとり、図や写真によって視覚的に理解できるようにするなど、分かり易さに配慮した表記になっている。	学習のきっかけとして、授業場面を想定した中学生の会話を挿絵で示し、分かり易さに配慮した表記になっている。			
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典などの使い易さへの配慮について	項目の冒頭に学習内容を示すとともに、関連する内容の振り返りができるページが把握し易いよう配慮されている。	数学の学習で大切な数学的活動や言語活動の進め方などを巻頭に示し、生徒が活動し易いよう配慮されている。			
	総合所見		積極的に発展的な内容をとり上げ、生徒の興味・関心や習熟度など、個に応じた学びに対応できるように配慮されている。また、学び直しに配慮して側注に関連ページを示したほか、前の学年までの学習内容をまとめて確認できるようにするなど、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られるよう工夫されている。	学びの必然性を重視した課題から導入し、生徒の主体的な活動を促したり、理由や方法を説明する問題を位置付けたりするなど、思考力や表現力が育つよう配慮されている。また、本文や巻末などに、反復練習や学力調査にかかわる問題を取り上げ、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られるよう工夫されている。			

調査票1	種目名 (理科)						
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	啓林館(61)	
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	科学的な概念や法則及び観察・実験の基礎技能をまとめて見易く示すことで、基礎的な知識及び技能の習得が図られるように工夫されている。	観察・実験の結果をもとに課題解決が進められるよう例を丁寧に示すことで、基礎的な知識及び技能の習得が図られるように工夫されている。	段階的に課題解決が進められるように結果や考察とまとめを分けて示すことで、基礎的な知識及び技能の習得が図られるように工夫されている。	科学的な概念や法則を観察・実験の結果や考察と関連付けられるように示すことで、基礎的な知識及び技能の習得が図られるように工夫されている。	観察・実験における器具の操作方法や注意点、薬品の扱い方を示すことで、基礎的な知識及び技能の習得が図られるように工夫されている。
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	課題解決の視点を示し、考察や話し合い、発表に取り組みさせることで、思考力、表現力の育成が図られるように工夫されている。	観察・実験の結果を整理させ、視点を示して考察させることで、思考力、表現力の育成が図られるように工夫されている。	既習事項を活用したり理由を説明する問題に取り組ませたりすることで、思考力、表現力の育成が図られるように工夫されている。	問題解決の過程で、多様な言語活動を位置付けることにより、思考力、表現力を育成できるように工夫されている。	キーワードや書き出しを示した記述問題に取り組ませることで、思考力、表現力を育成できるように工夫されている。
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	観察・実験の目的から考察までの流れが一目で確認できる構成により学習の見通しをもたせ、主体的に学習が進められるように配慮されている。	観察・実験の方法、結果の整理、考察を1ページ内に配置し、解決の見通しをもたせることにより、主体的に学習が進められるように配慮されている。	単元の内容に関連する話題を示し、学習内容に対する興味・関心を高めることにより、主体的に学習が進められるように配慮されている。	「理科学習の進め方」を丁寧に示し、それに沿って観察・実験に取り組ませることにより、主体的に学習が進められるように配慮されている。	本冊と別冊「マイノート」に関連させ、基礎的・基本的な事項を段階的に習得させることにより、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	話し合いや発表、レポート作成の仕方を示すことで、結果と考察を科学的に表現させることにより、言語活動の充実が図られるように配慮されている。	ノートの書き方やレポートの具体例を示すことで、結果と考察を科学的に表現させることにより、言語活動の充実が図られるように配慮されている。	基本操作でレポートやノートの具体例を示すことで、結果と考察を科学的に表現させることにより、言語活動の充実が図られるように配慮されている。	レポート作成のポイントや具体例を示すことで、結果と考察を科学的に表現させることにより、言語活動の充実が図られるように配慮されている。	自由研究のまとめ方、話し合いや発表方法を示すことで、結果と考察を科学的に表現させることにより、言語活動の充実が図られるように配慮されている。
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	学習の系統性や他教科との関連を示し、基礎的・基本的な事項が習得できるように配慮されている。また、防災教育などとの関連が図られている。	学習の系統性や他教科との関連を示し、既習事項を確認して学習に入れるように配慮されている。また、総合的な学習の時間などとの関連が図られている。	学習の系統性や他教科との関連を示し、それを活用して探究的な活動ができるよう配慮されている。また、キャリア教育などとの関連が図られている。	巻末に「理科学で使う算数・数学」を設けるなど他教科との系統的な関連に配慮されている。また、総合的な学習の時間などとの関連が図られている。	巻末に「理科でよく使う算数・数学」を設けるなど他教科との系統的な関連に配慮されている。また、キャリア教育などとの関連が図られている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	章の冒頭と章末で同じ問いかけをする「before & after」により、目的意識をもたせ、自己の考えの変容を知ることができるように配慮されている。	単元の冒頭で既習事項の確認とこれから学習することとの関連を図るように構成されており、見通しをもって探究的な活動ができるように配慮されている。	単元の冒頭で既習事項の確認問題を位置付けており、基礎的・基本的な内容を確認し、それを活用して探究的な活動ができるように配慮されている。	単元の冒頭で既習事項とこれから学習する内容を関連付けて示し、学習の見通しをもって主体的に探究的な活動ができるように配慮されている。	本冊と別冊「マイノート」から構成され、基礎的・基本的な内容の定着とそれらを活用して主体的に探究的な活動ができるように配慮されている。
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	「例題・練習・確認」による反復練習や「確かめと応用」で段階的な問題を設定し、基礎的・基本的な内容の定着が図られるように工夫されている。	学習課題ごとの「問い」で基礎的・基本的な内容を確認し、「章末問題」「まとめ」「単元末問題」で定着が図られるように工夫されている。	「学習のまとめ」「単元末問題」「活用しよう」を設定し、反復して学習することで基礎的・基本的な内容の定着が図られるように工夫されている。	要点と重要語句などの既習事項の確認が充実しており、「基礎・基本問題」を設定し、基礎的・基本的な内容の定着が図られるように工夫されている。	「ふりかえり」で既習事項の確認を行い、「学習のまとめ」や別冊「マイノート」で基礎的・基本的な内容の定着が図られるように工夫されている。

調査票1		種目名 (理科)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書(2)	大日本(4)	学図(11)	教出(17)	啓林館(61)	
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	防災、減災に関するコラムなどにより、地域の実情と関連させながら、有用性を感じられるように配慮されている。	発展的な内容と関連付けた防災、減災に関するコラムと示すことにより、有用性を感じられるように配慮されている。	防災、減災に関するコラムによって日常生活と地域の実情の関連を図り、興味・関心を高められるように配慮されている。	防災、減災に関するコラムが豊富であり、地域の実情と関連させながら、防災への意識が高められるように配慮されている。	防災、減災をテーマとした内容を取り上げ、地域の実情と関連させながら、主体的に学習できるように配慮されている。
	4	内容と分量のバランスについて	基礎的・基本的な知識や技能の習得に配慮した内容であり、科学的に考え表現する内容が充実している。	科学的に探究する力の育成に配慮した内容であり、知識の活用や発展的な内容が充実している。	目的意識をもって探究する力を育成する内容であり、知識の活用や表現の内容が充実している。	目的意識をもって探究する力を育成する内容であり、日常生活と関連付ける場面が充実している。	目的意識をもって探究する力を育成する内容であり、知識の活用や発展的な内容が充実している。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	焦点化した見出しで学習内容を示し、生徒が内容を意識しながら学習できるように配慮されている。	学習単位ごとに小見出しを示し、生徒が内容を意識しながら学習できるように配慮されている。	疑問形の見出しで学習内容を示し、生徒が目的意識をもって学習できるように配慮されている。	短文化した見出しで学習内容を示し、生徒が学習内容を意識しながら学習できるように配慮されている。	学習内容を簡潔な見出しで示し、生徒が内容を意識しながら学習できるように配慮されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	写真や写実的な図版を有効に使用するとともに、文字の大きさにも工夫を加えることで読み易いように表記されている。	分かり易く工夫された図版を使用するとともに、行間を広く、見易く読み間違えないような文字で表記されている。	写真や図版を有効に使用するとともに、色を文字で示すなど、色覚による個人差に対応できるように配慮されている。	学習内容の展開や課題解決の流れに即した写真や図版を使用するとともに、重要語句は文字の色を変え見易く表記されている。	写真や図版の資料を豊富に使用するとともに、行間を広く、見易く読み間違えないような文字で表記されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	目次で学習内容の系統性を示し、見通しをもって学習に取り組めるように配慮されている。	目次で各章の学習項目を示し、学ぶ内容を具体的にイメージして学習できるように配慮されている。	目次に「継続観察」の内容などを示し、年間を通して計画的に学習できるように配慮されている。	全学年の巻末に実験器具の写真と基本操作を掲載することで、確認し易いように工夫されている。	巻末で物質や薬品の性質を挙げ、安全に留意し観察・実験することができるように配慮されている。
	総合所見	学習の系統性を大切にし、問題解決の過程の中に段階的な反復練習を適切に位置付けることにより、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように工夫されている。 また、防災教育などとの関連を図り、科学の有用性を実感できるように配慮されている。	関連する他教科の既習事項を適切に配し、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように工夫されている。 また、観察・実験の流れと留意点を簡潔に示し、目的意識をもって取り組むとともに、結果を分析して解釈する能力を育成できるように配慮されている。	学習の系統性を重視し、単元冒頭の確認問題でレディネスを揃えてから学習に入ることにより、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように工夫されている。 また、職業や日常生活との関連を示すことにより、科学の有用性を実感できるように配慮されている。	問題解決の過程で、多様な言語活動を位置付けることにより、思考力、表現力及び結果を分析して解釈する能力を育成できるように工夫されている。 また、防災、減災や環境問題など豊富な科学の話題提供により、興味・関心が高められるように配慮されている。	本冊と別冊「マイノート」の活用により、基礎的・基本的な知識及び技能を段階的に習得できるように工夫されている。 また、言語活動を充実させ、キーワードや書き出しを示した記述問題に取り組ませることで、思考力、表現力を育成できるように配慮されている。	

調査票1	種目名 (英語)						
観点	項目・発行者名(番号)	東書 (2)	開隆堂 (9)	学園 (11)	三省堂 (15)	教出 (17)	光村 (38)
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	精選された基本本文を繰り返し練習できるよう工夫し、4技能を段階的に習得できるよう工夫されている。	基本本文を対話形式で示し、自然な対話の中で、言語の使用場面と働きを意識しながら習得できるよう工夫されている。	基本本文を本文に適切に位置付け、文法事項が場面において、どのような働きをするのか理解し易いよう工夫されている。	基本本文と関連させた既習の文を合わせて提示し、多様な言語活動を通じて文法事項が定着できるよう工夫されている。	簡潔な文法説明とともに、本文中の英文と同様の基本本文を提示し、自然な文脈の中で理解できるよう工夫されている。	基本本文を本文中に盛り込み、生徒が物語を読み進めながら、自然な文脈の中で文法事項を理解できるよう工夫されている。
	2 児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	既習事項を活用し、「書くこと」、「話すこと」を中心とした言語活動を設定し、発信力育成への配慮がされている。	既習の文法事項や表現をバランスよく活用し、4技能が有機的につながった言語活動に取り組めるよう配慮されている。	学習した文法事項や表現を総合的に活用し、自分の思いや考えを表現できるように、段階的な指導に配慮されている。	既習事項を活用し、ある技能に特化した言語活動を総合的に配置することで、思考力・表現力の育成に配慮されている。	既習の文法事項や表現を活用し、技能を統合した言語活動に取り組むことで、思考力・表現力の育成に配慮されている。	既習の言語材料を活用し、4技能をバランスよく使いながら、自分の意見や考えについて表現できるよう配慮されている。
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	学年に応じた辞書の使い方、発音記号、英文の書き方などの学び方について示し、自律的に学習を進めるための配慮がなされている。	辞書の使い方、文字と音の関係、単語と熟語、基本本文のまとめを巻末資料として提示することで自律的な学習態度の育成に配慮されている。	絵とともに語彙を分野別にまとめて提示したり、英和辞書の使い方を説明したりするなど、言語活動を豊かにするための配慮がなされている。	英和・和英辞書の使い方や単語の覚え方、インターネットの活用等、様々な英語学習方法に触れ、自律的な学習態度の育成に配慮されている。	学年に応じた辞書の使い方、英文の書き方・聞き方などの学び方を示すことで、自律的に学習を進めるための配慮がなされている。	辞書の使い方、音読方法、英語の読み方・聞き方などの様々な英語の学習方法に触れ、自律的な学習態度の育成に配慮されている。
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	本文の内容と関連付けた言語活動を各課終了後に単元のまとめとして位置付け、年間を通して4技能が総合的に育成されるよう配慮されている。	基礎的・基本的な内容から発展的な内容まで、4技能を総合的に扱い、多様な言語活動が段階的に行えるように配慮されている。	技能を統合的に扱う多様な活動の中で、自己表現させることにより、コミュニケーション能力が育成されるよう配慮されている。	基礎的・基本的な内容を活用し、技能を総合的に扱う言語活動を単元に配置することで、発信力を育成できるよう配慮されている。	単元の最後に、4技能を総合的に使用し、学んだ内容を振り返る言語活動が設定されており、基礎・基本の定着に配慮されている。	本文の内容に関連付けた統合的な言語活動をすべての単元に配することで、単元目標が確実に達成できるよう配慮されている。
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	小学校外国語活動との接続を意識し、環境教育、キャリア教育、防災安全などの題材を扱い、他教科や領域との関連に配慮されている。	小学校外国語活動との接続を意識し、キャリア教育、環境教育、などの題材を扱い、他教科や領域との関連に配慮されている。	小学校外国語活動との接続を意識し、インクルーシブ教育、環境教育、国際協力など、他教科や領域との関連に配慮されている。	小学校外国語活動との接続を意識し、インクルーシブ教育、平和教育、人種問題など、他教科や領域との関連に配慮されている。	小学校外国語活動との接続を意識し、伝統文化、環境、平和に関わる内容の題材など、他教科や領域との関連に配慮されている。	小学校外国語活動との接続を意識し、科学技術、環境教育など、他教科や領域に関係する内容を英語で学べるよう配慮されている。
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	各学年の到達目標を巻頭に示し、3年間で4技能を総合的に育成できるよう構成されている。	巻末に各学年の到達目標を提示し、3年間で4技能を総合的に育成できるよう構成されている。	チャプターの扉に到達目標を提示し、見通しを持って言語活動に臨めるよう構成されている。	巻末に各学年の到達目標を簡潔に示し、3年間で4技能を総合的に育成できるよう構成されている。	巻末に各学年の到達目標を提示し、3年間で4技能を総合的に育成できるよう構成されている。	巻頭と各課冒頭に到達目標を写真と共に示し、4技能を総合的に育成できるよう構成されている。
	2 反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	既習事項を「まとめと練習」で繰り返し、段階的な学習を通して、基礎的・基本的な内容の定着に配慮されている。	既習事項を「英語のしくみ」で振り返り、体系的に学ぶことで、基礎的・基本的な内容の定着に配慮されている。	既習事項を振り返り、色で品詞を分け、語順を意識させるなど、基礎的・基本的な内容の定着に配慮されている。	各課ごとに「文法のまとめ」を配置し、振り返らせることで、基礎的・基本的な内容を定着させるよう配慮されている。	「英語のしくみ」で、文法事項を3年間体系的に学習することで、基礎的・基本的な内容の定着に配慮されている。	「Language Focus」が配置され、文法事項を問題で振り返ることで、基礎的・基本的な内容の定着に配慮されている。

調査票 1	種目名 (英語)							
観点	項目・発行者名(番号)	東書 (2)	開隆堂 (9)	学園 (11)	三省堂 (15)	教出 (17)	光村 (38)	
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	伝統文化や食生活、東京五輪、東日本大震災など、自国の文化や出来事との関連に配慮された題材が用いられている。	伝統文化、地域の協働精神、マンガなどの現代の日本文化との関連が図られる題材が用いられている。	食生活、正月行事やスポーツ、サブカルチャーなど、季節や自国の文化との関連が図られる題材が用いられている。	日本の四季、食文化、自国や自分の町紹介など、歴史や文化、風習との関連が図られる題材が用いられている。	正月行事などのような、様々な季節行事のほか、阪神淡路大震災と東日本大震災とを関連した題材が用いられている。	食生活、正月行事、学校行事、自国や自分の町紹介など、歴史や文化、風習との関連が図られる題材が用いられている。
	4	内容と分量のバランスについて	本文及び言語材料が精選され、本文と基本本文の学習だけで十分に基礎的・基本的な内容を習得できるように内容と分量に配慮されている。	語彙及び言語材料が精選され、基礎的・基本的な内容の習得と活用のための多様な言語活動に取り組めるよう内容と分量に配慮されている。	本文及び言語材料が精選され、生徒の言語活動の充実と繰り返し学習を保障した指導計画を作成できるように内容と分量に配慮されている。	内容が精選され、基礎的・基本的な内容の習得を図る活動から、実践的に活用する活動まで十分に取り組めるよう内容と分量に配慮されている。	本文及び言語材料が精選され、習得した内容を活用させる時間を十分に確保して指導計画を作成できるように内容と分量に配慮されている。	語彙及び言語材料が精選され、本文の学習を通して基礎的・基本的な内容をその後の言語活動で活用できるように内容と分量に配慮されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	言語材料の解説や書く活動の説明・指示などが簡潔に表現され、言語活動が行い易いよう工夫されている。	各課のねらいや基本本文について、平易で簡潔な日本語で説明されており、理解し易いよう工夫されている。	基本本文を提示する際に、基本本文の機能が簡潔に併記されており、言語活動し易いよう工夫されている。	基本本文を提示する際、既習事項と併記して対比するなど、文構造及び文法事項を理解し易いよう工夫されている。	各単元の目標や基本本文の理解のポイントが丁寧に簡潔な日本語で示され、理解し易いよう工夫されている。	言語材料の解説や書く活動の説明・指示が分かり易く簡潔に表現され、言語活動が行い易いよう工夫されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	紙面全体にゆとりがあり、豊富なイラストや写真を効果的に掲載し、明度・彩度についても配慮されている。	基本本文と本文を別頁に配し、絵や写真を効果的に配置することで、内容が分かり易いよう配慮されている。	配色の工夫により文法事項が理解し易いほか、資料性の高い写真を配し、内容が分かり易いよう配慮されている。	学年や分量に応じて、字体、字間、行間を工夫し、挿絵や写真を活用することで場面を理解し易いよう配慮されている。	全体を通してデザインを統一し、イラストや写真を多用し、場面や心情を理解し易くなるよう配慮されている。	各課冒頭に、本文内容に関連する絵や写真を適切に配置するとともに、明度・彩度についても配慮されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	巻末に基本本文や重要表現、補充語彙を配置し、生徒が使い易いよう配慮されている。	巻末に単元ごとの単語や熟語の一覧を明示するなど、使い易いよう配慮されている。	巻末に文法や表現のまとめを配置し、言語活動で使い易いよう配慮されている。	巻末に文法事項の理解に有効な資料や語彙リストを提示し、使い易いよう配慮されている。	巻末に基本本文のまとめや場面別重要表現や語彙リストを配置し、使い易いよう配慮されている。	巻末に文法事項の理解を助けるイラストと説明を提示し、使い易いよう配慮されている。
	総合所見	小中高の英語学習の接続に配慮した構成となっており、複数の技能を統合した言語活動を通して、コミュニケーション能力の基礎が育成されるよう配慮されている。 また、既習事項を新たな学習内容に関連付けて繰り返し提示するなど、生徒の主体的な学習によって基礎的・基本的な内容を定着できるよう工夫されている。	外国語活動で育まれた素地を踏まえ、4技能を総合的に育成し、統合的に活用することによって、コミュニケーション能力の基礎が育成されるよう配慮されている。 また、学習到達目標を技能別に明示し、その達成に向けて多様な言語活動を段階的、系統的に配置するなど、生徒が自律的に学習できるよう工夫されている。	小学校との円滑な接続が図られるよう構成されており、音声面を中心としたコミュニケーション能力の素地の上に、4技能が総合的に育成されるよう配慮されている。 また、基礎的・基本的な内容を習得するための言語活動と、習得した知識・技能を活用するための言語活動をバランスよく取り組めるよう工夫されている。	小中高の円滑な接続に配慮した構成となっており、4技能を総合的に身に付けながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されるよう構成面で配慮されている。 また、基礎的・基本的な内容を確実に習得し、それらを実生活の中で活用できる力を繰り返し段階的に育成できるよう工夫されている。	生徒が英語で自らの考えなどを表現する活動が豊富に盛り込まれており、教科書本文の学習内容を補充する冊子を付するなどして、コミュニケーション能力の基礎が身に付くよう配慮されている。 また、各課及び各頁に到達目標を明示し、生徒が主体的に言語活動に取り組めるよう工夫されている。	各課で習得した内容を総合的に活用する言語活動を設定し、コミュニケーション能力の基礎が育成されるよう配慮されている。 また、教科書全体が一つのストーリーで構成され、本文中に基本本文を明示することで、生徒が自然な文脈の中で言語の使用場面と働きについて学習できるよう工夫されている。	

調査票 1		種目名 (音楽一般)					
観点	項目・発行者名(番号)	教出(17)	教芸(27)				
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	基礎・広がり・活用の「三つの柱」で構成されている。教材毎に、指導事項と共通事項を併記し、用語や記号は巻末に掲載され、基礎的な知識及び技能の習得が図られるように工夫されている。	指導分野毎に、題材のねらいに即して構成されている。教材毎に指導事項と共通事項を関連付けて示し、用語や記号は巻末に系統的に掲載され、基礎的な知識及び技能の習得が図られるように工夫されている。			
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	各領域の指導内容を関連付け、発展性に配慮しながら、一人一人の思いや意図を生かした学習活動につながるよう工夫されている。	中心となる教材と発展的な教材を関連付け、一人一人の思いや意図を生かした学習活動につながるよう工夫されている。			
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	生徒の実態に応じた活動を通して多様な学習が進められるように配慮されている。また、グループ活動を効果的に位置付け、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	学習の手順を具体的に示しながら活動の見通しがもてるように配慮されている。生徒が選択したり、協働したりする活動を通して、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。			
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	教科目標や学年目標を具体的な活動を通して達成できるように構成されている。鑑賞領域を中心に知覚・感受した内容を言葉で表すなどして、言語活動の充実が図られるように工夫されている。	教科目標や学年目標に即した内容を、無理なく習得できるように構成されている。鑑賞領域を中心に知覚・感受を関連付けて説明するなどして、言語活動の充実が図られるように工夫されている。			
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	音楽と人とかかわりを通して「生き方」や「伝統文化」について触れる中で、道徳などとの関連が図られている。	音楽文化について様々な切り口で紹介し、探究活動を位置付ける中で、総合的な学習の時間などとの関連が図られている。			
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	「基礎的学習」「多様な音楽表現の感受」「知識技能の活用」の視点で段階的に題材が配列されている。	共通事項を支えとして、各領域、指導分野毎に学習目標を明示して、題材が配列されている。			
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	基礎的・基本的な内容について、定着が図られるように題材が配列され、用語や記号を振り返りながら学習が深められるように配慮されている。	基礎的・基本的な内容について、各学年ごとに定着が図られるように工夫されており、生徒同士で楽しみながら確認し合えるように配慮されている。			

調査票 1		種目名 (音楽一般)		
観点	項目・発行者名(番号)	教出(17)	教芸(27)	
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	共通教材や岩手県を含む伝統的な郷土の音楽文化について重点的に取り上げ、季節感や地域性を感じ取ることができるように配慮されている。	共通教材や各地の音楽祭及び岩手県を含む伝統的な音楽文化を取り上げ、季節感や地域性を感じ取ることができるように配慮されている。
	4	内容と分量のバランスについて	時代や曲種等に偏りなく、幅広いジャンルの中から親しみやすい教材がバランスよく精選されている。	ねらいを明確にして、各分野の学習を進められるよう中心となる楽曲が精選されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	学習のねらいに即したポイントを、各教材毎に生徒向けの言葉で分かり易く示されている。生徒に問いかけるような文章表現を用いるなどして、学習者に寄り添うよう工夫されている。	全ての教材に学習目標を大きく示し、学習の手順が具体的に示されている。学習を深めるポイントや問いかけが、吹き出しの形で示され、学習者に寄り添うよう工夫されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	判読し易い配色やレイアウト、文字などの工夫がなされている。技能習得のためのイラストや、楽曲の情景、演奏の様子をイメージし易い写真などが効果的に使用されている。	重要な学習事項が優先的に目に入るように、シンプルにデザインされている。教科書に直接書き込めるような図表を用いて、主体的に学習活動を進められるよう工夫されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	基礎・広がり・活用の「三つの柱」で目次が構成され、学習内容が見通せるように示されている。楽曲で使用する音符や記号が各ページに抜書きされて、使い易さに配慮されている。	題材の目標が目次に明確に示され、指導事項と教材のかかわりが構造的に示されている。音楽を形づくっている要素が凡例として全ての教材に示され、使い易さに配慮されている。
	総合所見	基礎・広がり・活用の「三つの柱」で構成され、基礎となる学習活動をもとに多様な学習が広がるように配慮されている。また、楽曲の情景や演奏者の写真などを効果的に用いたり、多様なジャンルから親しみ易い教材を取り入れたりするなど、興味・関心をもたせながら学習が進められるよう工夫されている。	指導分野毎に、題材のねらいに即して構成され、学習内容が系統的、発展的に学べるよう配慮されている。また、学習の手順をもとに、吹き出しや書き込みのページを活用しながら学習を進めることができ、生徒同士が協働して思考・判断しながら主体的に学習が進められるよう工夫されている。	

調査票1		種目名 (音楽器楽合奏)					
観点	項目・発行者名(番号)	教出(17)	教芸(27)				
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	楽器の特徴を捉え、基礎的な奏法を確実に身に付けることができるように工夫されている。	器楽分野と創作分野にかかわる知識および技能の習得が図られるよう工夫されている。			
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	吹き出しを用いた簡潔なアドバイスが随所に見られ、基礎的な奏法をよりよい音楽表現の工夫に結び付けることができるように配慮されている。	各楽器の奏法について、「Q&A」や「工夫のポイント」が示され、思考・判断しながら、技能を習得していくことができるように配慮されている。			
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	写真や図により、各楽器の奏法のポイントやアドバイスが分かり易く示されている。また、見開きのページを活用し、奏法のみならず、楽器の構造や製作に至るまで、興味・関心を高める資料が提示されている。	書き込みページを活用して、創作と関連付けた活動や生徒の主体的な学習ができるように配慮されている。また、一人一人の技能に応じて教材を選択できるように、多様な楽曲が掲載されている。			
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	鑑賞教材と関連させ、紹介文を書くなどの活動を通して、言語活動の充実が図られている。	各楽器の特徴を探るための鑑賞場面を位置付けており、言語活動の充実が図られている。			
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	演奏家の言葉により、自他の敬愛と協力を重んずる気持ちを養うなど、道徳との関連が図られている。	伝統音楽について調べる学習活動などを通して、総合的な学習の時間や道徳との関連が図られている。			
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連付けについて	歌唱と共通の楽曲を用いることで、学習内容に関連性をもたせている。基礎的な奏法を身に付ける楽曲と、合奏曲とで構成されている。	音楽学習の相関図により、題材で学ぶべき要素が分かるよう配列されている。基礎的な奏法を身に付ける楽曲と、合奏曲とで構成されている。			
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	親しみ易い楽曲を用いて交互奏で学び合うなど、無理なく基礎的な奏法が身に付けられるよう配慮されている。	基礎的な奏法と音楽表現の基本を関連付けながら構成され、双方を段階的に身に付けられるよう配慮されている。			

調査票 1		種目名 (音楽器楽合奏)		
観点	項目・発行者名(番号)	教出(17)	教芸(27)	
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	富山県民謡の「こきりこ節」などの日本各地に伝わる郷土の伝統音楽や、「浜辺の歌」「もみじ」などの季節を感じさせる小・中学校の共通教材が適宜扱われている。	秋の虫の名を集めた「虫づくし」やわらべ歌の「ほたるこい」などの季節を感じさせる楽曲、楽器を用いる地域の行事や伝統芸能について写真を用いて扱われている。
	4	内容と分量のバランスについて	リコーダー、ギター、和楽器等の楽器を幅広く取り上げ、豊富な楽曲が掲載されている。	リコーダー、ギター、和楽器、打楽器等の楽器を幅広く取り上げ、教材性に富む楽曲が掲載されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	楽器の特徴、基本的な奏法、演奏のポイント等について具体的に分かり易く示され、無理なく学習が行われるよう工夫されている。	「Q&A」や共通事項に関連する演奏上のポイントが示され、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	楽器の種類や各部の名称、姿勢や奏法について多くの写真を用いて具体的に解説されている。	楽器の種類や構造、奏法について多くの写真や挿絵を用いて具体的に解説されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	目次は楽器毎に括られ、奏法毎に教材曲が並べられている。鑑賞、創作の教材について凡例を用いて示されている。	目次は楽器毎に括られ、奏法毎に教材曲が配置されている。「アンサンブルセミナー」では、題材の目標が明確に示されている。
	総合所見	楽器毎に基礎的な奏法を身に付けるための親しみ易い楽曲と、学び合いに適した合奏曲が配列されており、歌唱教材と学習内容の関連性をもたせるなどして、音楽表現の創意工夫と音楽表現の技能がバランスよく身に付けられるように構成されている。曲数が豊富で生徒の興味・関心や実態に合わせて楽曲を選択することができるように工夫されている。	器楽分野と創作分野にかかわる楽曲が、基礎的な奏法と音楽表現の基本の関連を図りつつ配列されている。「Q&A」や「工夫のポイント」を示すことで、学習者が主体的に学べるように配慮されている。「アンサンブルセミナー」では、各題材の目標が掲げられ、学習の方向性を明確に示しながら、授業を展開することができるように工夫されている。	

調査票 1		種目名 (美術)			
観点	項目・発行者名(番号)	開隆堂(9)	光村(38)	日文(116)	
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	題材毎に学習に役立つ技法などが箱囲みで示されており、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るよう工夫されている。	巻末に表現や鑑賞の参考となる資料が詳しく提示されており、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るよう工夫されている。	巻末に色彩や技法などを学ぶ資料が発展的に提示されており、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るよう工夫されている。
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	題材に関連する知識などの情報が印で分かりやすく示されており、思考力、判断力などの能力の育成を図るよう配慮されている。	題材に関連する知識などの情報が印で詳しく示されており、思考力、判断力などの能力の育成を図るよう配慮されている。	題材に関連する知識などの情報が印で具体的に示されており、思考力、判断力などの能力の育成を図るよう配慮されている。
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	〔共通事項〕を意識させる内容を盛り込むことにより、主体的に学習に取り組む態度を養うよう工夫されている。	〔共通事項〕を意識させる内容を明確に記載することにより、主体的に学習に取り組む態度を養うよう工夫されている。	〔共通事項〕を意識させる内容を随所に盛り込むことにより、主体的に学習に取り組む態度を養うよう工夫されている。
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	鑑賞作品には、話合いのきっかけになる問かけが提示されている。また、プレゼンテーションの様子が示されるなど、言語活動の充実に配慮されている。	鑑賞作品には、作者の心情などを読み取らせる詩が添えられている。また、話合い活動の様子が示されるなど、言語活動の充実に配慮されている。	掲載作品には、作者の制作意図を読み取らせる作者の言葉が添えられている。また、話合い活動の様子が示されるなど、言語活動の充実に配慮されている。
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	総合的な学習の時間との関連が図られている。また、小学校や大学との交流活動が示されており、異校種とのつながりがもてるよう工夫されている。	道徳との関連が図られている。また、作家の生き方を紹介した題材が設定されており、キャリア教育との関連も図られるよう工夫されている。	道徳との関連が図られている。また、社会問題と結びつけた題材が設定されており、防災や復興教育への関連も図られるよう工夫されている。
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	題材の中で、複数の表現方法が選択できるように配列されている。また、複数の題材を関連付けて系統的に学習できるように工夫されている。	表現と鑑賞など領域毎にまとめて題材が配列されている。また、2分冊にして3年間を見通した計画的な学習ができるよう工夫されている。	表現と鑑賞の一体化が図られるよう題材が配列されている。また、3分冊にして、発達段階を意識して系統的に学習できるよう工夫されている。
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	各題材で制作過程に沿った流れが解説されている。また、巻末資料などで学習の基礎的・基本的な知識や技能が定着するよう配慮されている。	発想や構想のヒントが具体的に示されている。また、巻末資料を充実させ、学習の基礎的・基本的な知識や技能が定着するよう配慮されている。	各題材でスケッチを用いて考えを深めさせる活動が繰り返し示されている。また、巻末資料で学習の基礎的・基本的な技能が定着するよう配慮されている。

調査票 1	種目名 (美術)		開隆堂(9)	光村(38)	日文(116)		
観点	項目・発行者名(番号)						
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	日本の美術文化や地域の伝統工芸の図版を随所に掲載したり、季節を味わわせる内容を盛り込んだりして、関心をもたせるように工夫されている。	日本の美術文化や身近な生活の中の美術に関する図版を掲載したり、季節感を味わわせる題材を設定したりして、関心をもたせるように工夫されている。	日本の美術文化や近代美術に関する図版を掲載して、季節を味わわせる題材を設定したりして、関心をもたせるように工夫されている。		
	4	内容と分量のバランスについて	表現方法を複数選択できる題材が設定されている。また、関連する内容をまとめて題材を精選するなど、内容と分量のバランスについて配慮されている。	学習の広がりや深まりを重視した題材が設定されている。また、題材を複数盛り込むなど、内容と分量のバランスについて配慮されている。	系統的に題材が設定されている。また、表現と鑑賞の関連を図る題材を複数盛り込むなど、内容と分量のバランスについて配慮されている。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	題材の概要が捉えられるよう分かり易く文章で表したり、鑑賞の視点を示したりすることで、学習内容の理解が図られるよう配慮されている。	生徒の意欲を喚起するよう語りかける文章表現を取り入れたり、作者の言葉を示したりすることで、学習内容の理解が図られるよう配慮されている。	生徒の意欲を喚起するような題材名や文章表現を工夫したり、作者の言葉を示したりすることで学習内容の理解が図られるよう配慮されている。		
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	題材毎に生徒の思考に沿って紙面がレイアウトされている。また、原寸大図版を一部掲載をするなど、学習し易いように配慮されている。	原寸大図版には、実際の大きさを捉えられるものさしが掲載されている。また、思考を促すマークを提示するなど、学習し易いように配慮されている。	ワイドな紙面に図版が数多く掲載されている。また、和紙のよさが実際に捉えられる鑑賞ページを設けるなど、学習し易いように配慮されている。		
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	目次は、題材名と領域毎に色分けされている。また、図画工作科教科書と共通のデザインを採用することにより、使い易さに配慮されている。	各ページには学習内容を示すインデックスが付けられている。また、裏表紙に目次を掲載することにより、使い易さに配慮されている。	折り込みページの目次を見ながら学習内容を確認できるよう紙面が構成されている。また、表紙に学年テーマを示すなど、使い易さに配慮されている。		
	総合所見		図画工作科からの移行に配慮した内容や、異校種間を意識した題材を取り入れるなど、美術の基礎的な能力を伸ばすように工夫されている。また、興味や関心をもち易い題材を精選するとともに、各題材で制作過程に沿った流れを解説することにより、主体的な学習を促し、表現や鑑賞活動の充実が図られるように配慮されている。	2分冊にして、題材の構成を領域毎にまとめて整理するとともに、計画的な学習ができるようにするなど、美術の基礎的な能力を伸ばすように工夫されている。また、道徳や身近な生活の中の美術との関連を図る内容を盛り込むことにより、美術を愛好する心情を育て、表現や鑑賞の活動の充実が図られるように配慮されている。	発達段階を重視して系統的に題材を設定するとともに、表現と鑑賞の一体化を図って取り組める題材を複数盛り込むなど、美術の基礎的な能力を伸ばすように工夫されている。また、道徳や防災、復興教育などとの関連を図る内容を盛り込むことにより、感性を豊かにし、表現や鑑賞の活動の充実が図られるように配慮されている。		

調査票 1	種目名 (技術)		東書(2)	教図(6)	開隆堂(9)		
観点	項目・発行者名(番号)						
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	基礎的・基本的な知識及び技能について、観察・実験を中心とした課題解決的な学習を通して習得できるよう配慮されている。	基礎的・基本的な知識及び技能について、製作や実験などを中心とした活動を通して習得できるよう配慮されている。	基礎的・基本的な知識及び技能について、思考を中心とした課題解決的な学習を通して習得できるよう配慮されている。		
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	技術と社会や環境とのかわりについて、プラス・マイナス面から問題解決の道筋を示し、生活に即して技術を活用する能力を育成するよう配慮されている。	技術と社会や環境とのかわりについて、随所に写真や図、表を用いることで、生徒の学習に即して技術を活用する能力を育成するよう配慮されている。	技術と社会や環境とのかわりについて、具体的かつ多面的に取り上げ、社会や生活に即して技術を活用する能力を育成するよう配慮されている。		
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	小学校との接続や教科との関連に配慮され、匠の取材や観察・実験を取り入れるなど、技術への関心を高めるよう工夫されている。	各内容の冒頭ページに、トピックとして学習内容を活かしたテクノロジーを示し、技術への関心を高めるよう工夫されている。	各内容の冒頭ページに、「技術の歴史年表」を掲載し、技術の進歩に触れ、技術への関心を高めるよう工夫されている。		
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	作業工程に応じた問題解決的な学習を通して、学習成果を話し合い、発表する機会を設け、評価活用の場面において、言語活動の充実などが図られている。	題材に応じた問題解決的な学習を通して、課題を考え、まとめたものについて話し合う機会を設け、言語活動の充実などが図られている。	題材や材料に応じた問題解決的な学習を通して、学習成果を記述しまとめて、発表する機会を設け、言語活動の充実などが十分に図られている。		
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	各内容のスタートにおいて、小学校や中学校の各教科と技術とのかわりに触れられている。他教科、道徳、キャリア教育との関連が図られている。	導入の「ガイダンス」において、小学校までに学習した内容と技術とのかわりに触れられている。理科の学習内容との関連が図られている。	導入の「ガイダンス」において、小学校各教科の学習を想起させている。学習全般において数学や理科、技術分野の各内容との関連が図られている。		
2 組織配列分量	1	全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	習得から活用まで系統的に学習が進められるよう配列されている。「リンク」表記を用い、知識や技術に関連付け、活用できるよう工夫されている。	厳選された実習題材の提示とものづくりを通して、学習が進められるよう配列されている。作業工程を示し、計画的に実習できるよう工夫されている。	学校の実態に応じた指導計画に柔軟に対応できるよう配列されている。「リンク」表記を用い、知識や技術に関連付け、活用できるよう工夫されている。		
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	「学習のまとめ」や用語の検索などにより、調べ学習ができる内容であり、知識が確実に定着するよう工夫されている。	大きな写真を用いて実習の手順を示すことにより、見通しをもちながら技能が確実に定着するよう工夫されている。	「学習のまとめ」により知識や技能を活用して考え、「自己評価」を活用しながら、知識が確実に定着するよう工夫されている。		

調査票 1	種目名 (技術)		東書(2)	教図(6)	開隆堂(9)		
観点	項目・発行者名(番号)						
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	作物と地域に応じた栽培時期の資料を掲載し、気候を考慮した題材選択ができるよう配慮されている。	作物に応じた適温の資料を掲載し、気候を考慮した題材選択ができるよう配慮されている。	作物の主産地と季節に応じた資料を掲載し、気候を考慮した題材選択ができるよう配慮されている。		
	4	内容と分量のバランスについて	各内容に応じたバランスのとれた分量で、大きな紙面で編集され、豊富な資料が掲載されている。	木材による製作に重点を置き、図や写真を用いて、学習内容が端的に説明されている。	各内容に応じたバランスのとれた分量で、学習内容を精選化し、要点を捉えて説明されている。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	専門的な用語は、本文中で説明したり、解説は着色し、フォントを変えて記載されている。	専門的な用語は、本文中で説明したり、解説はフォントを変えて具体例を加えて記載されている。	専門的な用語は、本文中で説明したり、解説はフォントを変え、図や写真を加えて記載されている。		
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	製作のポイントは製作工程ごとに写真などで整理、解説されている。主な図などに番号を付け、分かり易い表記への配慮がなされている。	製作のポイントは実習題材で写真などによって例示、解説されている。図などの番号が本文と対応し、分かり易い表記への配慮がなされている。	製作のポイントは写真などで細部まで効果的に解説されている。全ての図などに番号が付記され、分かり易い表記への配慮がなされている。		
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	目次や凡例により、各編の学習内容が分かる。爪、注や解説、譜表が豊富であり、使い易さへの配慮がなされている。	目次や凡例により、各章の学習内容が分かる。注や解説、譜表が適切に配置され、使い易さへの配慮がなされている。	目次や凡例により、各内容が関連付けられている。爪見出し、注や解説、譜表が豊富であり、使い易さへの配慮がなされている。		
	総合所見		観察・実験、ものづくりを通し、知識及び技能について繰り返し学ぶことで、着実に習得するよう工夫されている。また、技術と社会や環境のかかわりについて具体的に説明され、技術を活用する能力を育成するよう配慮されている。	厳選された実習題材によるものづくりを通し、技能を重点的に学び、知識を習得するよう工夫されている。また、技術と社会や環境のかかわりについて写真や図、表を用いて、技術を活用する能力を育成するよう配慮されている。	構想や設計、ものづくりを通し、知識及び技能について問題解決的な学習で、学びを深めるよう工夫されている。また、技術と社会や環境のかかわりについて具体的・多面的に扱われ、技術を活用する能力を育成するよう配慮されている。		

調査票1		種目名 (家庭)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書 (2)	教図 (6)	開隆堂 (9)			
1 内容	1	基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	見開きで「目標」「始めの活動」「まとめの活動」を示し、単位時間で学習内容を定着させるように配慮されている。	学習の目標とキーワードチェックを明記し、各内容の最後で学習内容を振り返らせ、定着させるように配慮されている。	学習の目標を明記し、中項目ごとの振り返りと大項目ごとのまとめで学習内容をより定着させるように配慮されている。		
	2	児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	生活の中から課題を見付け、問題解決的な学習を繰り返すことによって、思考力、表現力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	日常生活の課題を例示し、実習・製作や作業を通して学習を深め、思考し、表現できるよう工夫されている。	日常生活の課題解決を目指し、「探究」により学習を深めることを通して、思考し、表現できるよう工夫されている。		
	3	児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	問題解決的な学習を大切に、生活に始まって生活に返すことで主体的に学べるよう工夫されている。	実習や作業を多く取り入れることにより、学習を深めることができるよう工夫されている。	導入課題を設けることにより、生活の具体的な場面を課題として考えるよう工夫されている。		
	4	教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	教科目標を提示し、それぞれの編で分かり易く学習内容を示している。「言葉のページ」を設け、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	ポイントを絞って、簡潔に教科目標を提示している。本文や説明資料などの文章量が豊富で、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。	「自立」「共生」及び「持続可能な社会」を柱に教科目標を提示している。「プロセス図」を用いて、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。		
	5	他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	小学校家庭科との体系化を図るとともに、他教科及び道徳と関連させて横断的に学習を進めるように考慮されている。	小学校家庭科を振り返り、既習事項を確認するとともに、技術分野と関連させて知識が身に付くように考慮されている。	小学校家庭科との体系化を図るとともに、他教科、道徳及びキャリア教育と関連させて横断的に学習を進めるように考慮されている。		
2 組織 配列 分量	1	全体構成や単元・題材の体系的な配列・関連付けについて	「食生活と自立」「衣・住生活と自立」から配列されており、多様な指導計画に対応した内容で構成されている。	各内容がA～Dに順に配列されており、基礎的・基本的な内容を踏まえ、「実習」と「発展」の内容で構成されている。	各内容がA～Dに順に配列され、人やもののかかわりの中で基礎的・基本的な内容から発展的な内容まで構成されている。		
	2	反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	具体的な手順や留意点をまとめた「基礎技能ページ」を示すことで、反復練習に活用できるよう工夫されている。	「学習のふり返し」や「キーワードチェック」により、学習の内容の定着が確認できるよう工夫されている。	基礎的・基本的な内容と「発展のページ」への段階を明確にし、「ふり返し」により、確認できるよう工夫されている。		

調査票1		種目名 (家庭)					
観点	項目・発行者名(番号)	東書 (2)	教図 (6)	開隆堂 (9)			
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	日本の家庭生活における「伝統文化」を資料として豊富に提示し、学習に広がりを持たせるよう工夫されている。	国内外の家庭生活における「伝統文化」を資料として提示し、学習に興味・関心を持たせるよう工夫されている。	日本の家庭生活における「伝統文化」を豊富に取り上げ、その伝承の意義を理解し、実践できるよう工夫されている。		
	4	内容と分量のバランスについて	生活の「自立」の観点から、食生活と衣生活・住生活の内容に多くの分量が配分されている。	実習例が多彩に示されており、特に「食生活と自立」の内容に多くの分量が配分されている。	生活の「自立」と「共生」の観点から、全ての項目がバランスよく配分されている。		
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	「言葉のページ」で「煎る」など独特な言い回しを取り上げ、重要語句を太字で強調し、マーク表示などで理解を助けるよう工夫されている。	学習内容に関する「キーワードチェック」欄を設け、重要語句を太字で示し、「参考」「注釈」などで理解を助けるよう工夫されている。	基礎的・基本的な内容を平易な言葉で簡潔に記述しており、重要語句を太字で強調し、マーク表示などで理解を助けるよう工夫されている。		
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	教科書の横幅を効果的に生かした作業工程の提示、文字の大きさや配色など、視覚的に理解し易いよう工夫されている。	豊富なイラストや図版と用途に応じた写真を提示し、レイアウトを固定するなど、視覚的に理解し易いよう工夫されている。	生徒の目線の写真やイラスト、配慮された色彩や文字を用い、科学的根拠による資料を取り入れ、理解し易いよう工夫されている。		
	3	目次、索引、注、凡例、諸表、出典等の使い易さへの配慮について	「ガイダンス」を重視した構成で、3年間の学習目標と見通しをもたせ、用途に応じたマークを用いることで使い易さへの配慮がなされている。	「ガイダンス」は3年間の学習の見通しが立てられるよう見開きで簡潔に示し、内容の他に実習、発展を掲載するなど、配慮がなされている。	「ガイダンス」を重視した構成で、3年間の学習の目標と見通しをもたせ、人やものとの関わりや写真を取り入れ、使い易さへの配慮がなされている。		
	総合所見	見開きで、1単位時間ごとの目標と学習内容が提示され、見通しをもって学習できるよう配慮されている。また、今日的な課題である防災教育について、学習内容と関連付けられるよう工夫されている。	実習例や説明資料が多く掲載されており、意欲的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。用語のチェックや振り返りによって、内容を確認し、学習に取り組めるよう工夫されている。	生活の中から課題意識をもたせ、「自立」と「共生」を柱に、問題解決的な学習に取り組むよう配慮されている。また、防災教育や安全について、学習内容と関連付けられるよう工夫されている。			

調査票1 種目名 (保健体育)		東書(2)	大日本(4)	大修館(50)	学研(224)
観点	項目・発行者名(番号)				
1 内容	1 基礎的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫について	学習の流れが明示され、資料を用いながら理解できるよう配慮されている。また、学習全体を網羅する章末の問題により、習得を図るよう工夫されている。	学習課題が明示され、資料を利用しながら理解できるよう配慮されている。また、章末にまとめを設けることで、習得を図るよう工夫されている。	問いで学習内容をつかみ、コラムや事例を通して理解できるよう配慮されている。また、章末のまとめで振り返りによる習得を図るよう工夫されている。	学習目標が明確に示されており、調べる・表現することで理解できるよう配慮されている。また、章のまとめで用語と基礎の習得を図るよう工夫されている。
	2 児童生徒が習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むための配慮や工夫について	習得した知識を活用する学習活動「考えてみよう」を位置付け、自分の意見をまとめ、話し合ったり記述したりできるよう工夫されている。	学習して得たことを活用する「学習を活かして」を位置付け、自分の意見をまとめ、話し合ったり記述したりできるよう工夫されている。	学んだことを生かして思考、判断、表現する「TRY」を位置付け、自分の意見をまとめ、話し合ったり記述したりできるよう工夫されている。	学習を通して身に付けた知識を活用し取り組む「活用しよう」を位置付け、自分の意見をまとめ、話し合ったり記述したりできるよう工夫されている。
	3 児童生徒に主体的に学習に取り組む態度を養うための配慮や工夫について	学習内容に関連した読み物や章末資料、クイズなど身近な課題を示し、主体的に取り組めるよう工夫されている。	学習を深めるトピックスやミニ知識など興味・関心のある内容を示し、主体的に取り組めるよう工夫されている。	興味・関心を引くクエスチョンやコラム、事例など身近な課題を示し、主体的に取り組めるよう工夫されている。	学習内容に関連したコラムや「探究しようよ」など現代的な健康課題を示し、主体的に取り組めるよう工夫されている。
	4 教科目標、学年目標、言語活動の充実等からみた内容について	導入やまとめの段階で、発表したり、話し合ったりするなどの多様な言語活動を取り入れることにより、実践力を育成するよう配慮されている。	導入やまとめの段階で、日常生活を振り返って話し合う活動や発表を通して、具体的な場面を想定しながら、実践力を育成するよう配慮されている。	始めの段階での問いや、項末課題で話合いの場面を設定するなど、言語活動を取り入れることにより、実践力を育成するよう配慮されている。	学習の各段階で、表現したり、説明したりするなどの多様な言語活動を取り入れることにより、段階的に実践力を育成するよう配慮されている。
	5 他の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連について	社会科、理科、食育との関連を図ることができるよう配慮されている。また、小中高の系統性が明示されている。	食育との関連を図ることができるよう配慮されている。また、小学校での学習を振り返る活動が取り入れられている。	理科、家庭科、特別活動、食育との関連及び保健体育の他の学習内容との関連を図ることができるよう配慮されている。	社会科、理科、食育との関連を図ることができるよう配慮されている。また、小中高の系統性が明示されている。
2 組織配列分量	1 全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けについて	学年ごとに配列され、各学年の内容が明確に示されている。また、関連する学習内容や他教科との関連について理解が図られるよう配慮されている。	体育編・保健編に分けて配列されており、それぞれの学習内容が明確にされている。また、関連する学習内容について理解が図られるよう配慮されている。	体育編・保健編に分けて配列されており、それぞれの学習内容が明確にされている。また、関連する事例や資料について理解が図られるよう配慮されている。	保健編・体育編に分けて配列されており、それぞれの学習内容が明確にされている。また、関連する内容や他教科への理解が図られるよう配慮されている。
	2 反復練習など、基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮について	キーワードを示したり、章末に確認問題や自己評価を設けたりするなど、学習内容を総合的に定着させるよう配慮されている。	キーワードやミニ知識を示したり、章末に学習のまとめを設けたりするなど、学習内容を確認し、定着させるよう配慮されている。	キーワードや注釈をつけたり、章末に学習のまとめを設けたりするなど、学習内容を確認し、定着させるよう配慮されている。	キーワードや注釈をつけたり、章のまとめを設けたりするなど、学習内容を総合的に定着させるよう配慮されている。

調査票1	種目名 (保健体育)		東書(2)	大日本(4)	大修館(50)	学研(224)
観点	項目・発行者名(番号)					
	3	季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けについて	読み物、章末資料の身近な課題や話題などにより、掲載し、季節や社会的行事等、地域の実情に関連付けるよう工夫されている。	トピックス、章末資料の日常生活に生かせる内容などにより、季節や社会的行事等、地域の実情に関連付けるよう工夫されている。	コラム、トピックの新しい話題や問題などにより、季節や社会的行事等、地域の実情に関連付けるよう工夫されている。	カウンセリングルームなどの今日の健康課題などにより、季節や社会的行事等、地域の実情に関連付けるよう工夫されている。
	4	内容と分量のバランスについて	系統的に構成された内容で、見直しをもって主体的に学習ができるよう配慮されている。学習内容により、ページ数を増やすなど適切に配分されている。	系統的に配列された内容で、自ら考え、主体的に学習できるよう配慮されている。学習内容により、ページ数を増やすなど適切に配分されている。	系統的に配列された内容で、生徒が自発的・自主的に学習ができるよう配慮されている。学習内容により、ページ数を増やすなど適切に配分されている。	系統的に配列された内容で、見直しをもって学習ができるよう配慮されている。学習内容により、ページ数を増やすなど適切に配分されている。
3 使用上の 配慮や 工夫	1	分かり易さに配慮した語句や文章による表現について	本文に対する説明が簡潔に示され理解し易く表記されている。また、学習内容が簡潔にまとめられ、見易く工夫されている。	本文とその資料の説明が簡潔に示され、理解し易く表記されている。また、文章表現が簡潔で、見易く工夫されている。	本文と図の関連を文末に示し、理解し易いように表記されている。また文章表現は簡潔で、表現を変えるなど工夫されている。	本文と資料の関連をもたせ、理解し易いように表記されている。また、文章表現が平易で、表現が工夫されている。
	2	分かり易さに配慮した文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記について	本文のキーワードの書体を変え、見易く表記されている。図やグラフを用いた資料など、分かり易く工夫されている。	重要な語句は、大きな字で配置するなど見易く表記されている。図版の大きさや配置が分かり易く工夫されている。	本文に背景色を用い、重要語を太字で示すなど見易く表記されている。図版を吹き出しを使い、分かり易く工夫されている。	本文の位置を統一し、平易な表現を用いるなど分かり易く表記されている。資料を時系列で示すなど分かり易く工夫されている。
	3	目次、索引、注、凡例、譜表、出典等の使い易さへの配慮について	目次には、資料も紹介されている。巻末には、キーワードの解説を入れるなど配慮されている。	目次は、簡潔に紹介されている。索引は見易く、巻末には重要語が示されるなど配慮されている。	目次は、資料や発展も合わせて表示している。巻末には、図表の出典が明示されるなど配慮されている。	目次には、コラムも紹介されている。脚注には、出典の詳細について記載するなど配慮されている。
	総合所見		学年別構成とし、各学年の学習内容を明確にして配列され、基礎的・基本的な学習内容が総合的に定着できるよう工夫されている。また、習得した知識を活用する多様な言語活動を通じて、今日の課題に対する実践力の育成が図られるよう工夫されている。さらに、身近な課題に関する資料を多く提示し、生徒が主体的に課題へ取り組めるよう配慮されている。	学習指導要領に合わせて体育編・保健編の順に配列され、基礎的・基本的な学習内容が確認し易いよう工夫されている。また、日常生活に基づく話し合い活動や発表を行う中で、今日の課題に対する実践力の育成が図られるよう工夫されている。さらに、日常生活に関する資料を豊富に扱い、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	学習指導要領に合わせて体育編・保健編の順に配列され、基礎的・基本的な学習内容の振り返りができるよう工夫されている。また、実生活に基づく課題把握と話し合いの場を設定することにより、今日の課題に対する実践力の育成が図られるよう工夫されている。さらに、興味・関心のある事例を示し、生徒が主体的に取り組めるよう配慮されている。	学習指導要領に基づき保健編・体育編の順に配列され、基礎的・基本的な学習内容が総合的に定着できるよう工夫されている。また、学習の各段階で多様な言語活動を取り入れることにより、今日の課題に対する実践力の育成が図られるよう工夫されている。さらに、現代的な健康課題や題材を示し、生徒が主体的に取り組めるよう配慮されている。